

流通経済大学

履修要綱

経済学部

(2018入学生用)

目 次

教育方針

教育課程表

経済学科 教育課程表

1. 基本科目	8
2. 外国語科目	8
3. 教養科目	10
4. キャリア科目	11
5. 専門科目	12
6. 教職科目	16
卒業に必要な単位数	17
副専攻	18

経営学科 教育課程表

1. 基本科目	21
2. 外国語科目	21
3. 教養科目	23
4. キャリア科目	24
5. 専門科目	25
6. 教職科目	29
卒業に必要な単位数	30

カリキュラムマップ

一般教養科目カリキュラムマップ	31
キャリア科目カリキュラムマップ	32
経済学科カリキュラムマップ	35
経営学科カリキュラムマップ	39

履修の手引

1. セメスター制	43
2. 単位制	43
3. 最高履修単位数	43
4. 3学年進級に必要な単位数	43
5. 卒業	44
6. 科目の履修	44
7. 単位の修得	45
8. 休講と補講	46

9. 出席調査	46
10. 災害時の授業	46
11. 試験	46
12. 不正行為	47
13. 成績評価	48
14. G P A	48
15. 他キャンパス受講	49
16. キャンパス変更	49
17. 演習の履修	49
18. 卒業研究（経営学科）	50
19. 選択科目と副専攻（経済学科）	50
20. 単位の認定	51
21. 資格の取得	56
22. 履修計画と履修モデル	59

教育方針

経済学部教育方針

経済学部では、経済学や経営学の専門知識を基礎に、広い国際的視野と的確な情報処理能力をそなえた教養ある人材の養成を目的とする（流通経済大学・学則・第4条の2）。

教育理念

21世紀をむかえ、政治、経済、文化活動は、これまで以上に世界的な規模になっています。コンピュータの発達など、情報通信分野の急速な技術革新は、大量の情報を収集、処理し、それにもとづいて判断を下すことを私たちに求めています。国際化、情報化の時代に生きる私たちには、国際的視野と情報処理能力を備えた判断力を身につけることが必要とされています。

流通経済大学経済学部では、このような現代社会の要望に応じて、経済学や経営学の専門知識を基礎に、広い国際的視野と的確な情報処理能力をそなえた「教養ある実業人」を育成し、社会に送り出すことを教育理念としています。みなさんには、課題を確実に遂行できる力を身につけ、社会の各分野で信頼される人物になってほしいと考えています。この「教養ある実業人の育成」という教育目標は、健全な企業人としても、教養豊かな市民としても、社会に貢献できる人物を育成するという本学の建学の精神にもとづいています。こうした教育理念の下、経済学部では、次のような教育方針を立てています。

教育方針

21世紀に通用する実業人とは、企業人とどまらず、社会の発展と福祉に貢献する社会人、教養人を意味します。経済学部では、幅広い教養を身につけるとともに、経済学および経営学の基本的な理論と、実践に結びついた専門的な理論を学ぶことのできる学習環境・プログラムを用意しています。経済、経営、物流といった専門領域の研究を深めるための科目、国際的な視野を養う多様な外国語科目、そして幅広い教養を身につけるための人文・社会・自然科学の各分野の科目、コンピュータ関連科目など、数多くの科目を設置しています。

また、本学の開学以来の一貫した教育方針として、全員ゼミナールの実施があります。経済学部では、少人数クラスのゼミで、みずから調べ、書き、検討し、報告することによって、自分の頭で判断し、自分の考えを明快に主張できる人材を育てることをめざしています。教員によるきめ細かな指導によって、教養ある実業人として必要な能力、たとえば、専門書を読む力、報告書を作成する力、コンピュータを使って情報を処理する力、自分の意見をわかりやすく発表する力などを身につけます。経済学部では、経済学科と経営学科がそれぞれの学科の特性を生かして、カリキュラムを設定しています。

経済学科の教育方針

教育目的（流通経済大学・学則・第4条の2）

経済学科では、経済・社会情勢を的確に見極めるための基礎知識を持ち、実践の場においてこれを応用できる人材の養成を目的とする。

ディプロマポリシー（学位授与の方針） Diploma Policy（略称：DP）

経済学科は、学部の教育目的の下、「経済・社会情勢を的確に見極めるための基礎知識を持ち、実践の場においてこれを応用できる人材を養成」することを目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（経済学）の学位を授与する。

1. 経済学の理論と現実の経済をバランスよく学習し、それにもとづいて課題に対応していく知識や能力、態度
2. 自分で考え、周囲の人とコミュニケーションを図りながら、問題を解決していく知識や能力、態度
3. 豊かな教養と社会の規範を身につけ、健全で充実した社会活動を行う知識や能力、態度

カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針） Curriculum Policy（略称：CP）

経済学科では、ディプロマポリシーにおいて規定されている学位授与の要件である3つの能力を持つ人材を効果的に育成できるよう、育成したい能力に対応した、以下のようなカリキュラムを編成し、必要な科目を提供する。

1. 標準的な経済学教育の体系に沿って、基礎から専門まで一貫して学修できる積上げ型のカリキュラムに対応した専門基礎科目、および経済学の発展的知識および経済学に関連する多様な学問領域の専門知識を学修する専門発展科目
 - i) 体系的な経済学を学ぶ起点として、経済学の基礎理論に触れ、現実の経済現象への興味を喚起するための必修科目
 - ii) 経済学の専門的知識を積上げていくために必須となる、共通の知的基盤を形成するための科目
 - iii) 経済学の諸分野を学ぶために必須となる、分野に対応した専門基礎科目
 - iv) 経済学の応用・発展的分野を学ぶために必須となる、専門基礎科目と連動した専門発展科目
2. 周囲とコミュニケーションを図りながら、自ら問題を解決していく知識や能力、態度を身に付けるための、演習、語学等の科目
 - i) コミュニケーション能力および課題を発見し解決する能力を育成するための演習
 - ii) 国際化社会において必須となる外国語によるコミュニケーション能力を学修する外国語科目
 - iii) 専門分野における知見と実学的な知見を融合し、ビジネスの現場で通用するコミュニケーション能力を高めるための科目
3. 市民社会の一員として必要不可欠な社会規範と教養を身に付け、健全な知的基盤を形成し、生涯学習へと発展させていく科目

- i) 人文科学、社会科学、自然科学に対する理解を深める一般教養科目
- ii) 生涯学習のための基礎的知識と、自己実現に向けた能動的な態度を育成するキャリア関連科目
- iii) 社会人として必要な幅広い視野を身に付けるために、経済学に関連の深い他の学部、学科の科目

経営学科の教育方針

教育目的（流通経済大学・学則・第4条の2）

経営学科では、経営学全般の基礎的理論の修得をはかり、さらに実践的教育をほどこすことを通して現場の多様な課題に対応できるスペシャリストの養成を目的とする。

ディプロマポリシー（学位授与の方針） Diploma Policy（略称：DP）

経営学科は、学部の教育目的の下、産業がグローバル化する時代に通用する「起業およびマネジメントの実践ができる人材」を育成することを目指しており、学修計画と履修モデルにもとづき、所定の単位を修得し、以下のようなビジネスマネージャーに求められることになる知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（経営学）の学位を授与する。

1. 新しい商品やサービスのイノベーション特性を抽出できる。
2. 営利または非営利の組織の一員として専門知識を適用し職務を遂行できる。
3. 多様で異なる価値観、役割および職種の顧客や同僚と協働できる。
4. 経営計画、商品開発や経営分析において自主的に取り組める。
5. 企業人として成果を追求しながら、社会人として継続的に学習できる。

カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針） Curriculum Policy（略称：CP）

経営学科では、産業界が求めているグローバル人材を育成するために、教養のある人材であること、専門知識を英語で学んでいること、現役の経営幹部・実務者からビジネスの実態を学んでいることに対応したカリキュラム編成を基本とする。

そのうえで、本学の基本教育方針である全員ゼミ制度を発展させ、専門知識と教養を備えた応用力が発揮できるように、専門学修と教養学修を統合した4年間を一貫する演習（ゼミ）を開講する。

個々の学生と教員の間で、各自の目標を確実に実現すべく、学修方針や履修計画を立案できるようにする。

卒業研究では、下級生への報告会や指導演習を通して、グローバル時代に求められる集団適応力と自律した思考や行動を修得できるようにする。

4年間を一貫する演習（ゼミ）を中心に各科目を配置し、カリキュラムを系統化する。

専門科目として、学生の将来計画に対応すべく、起業やマネジメントに関する科目群、マーケティングや流通に関する科目群、会計やファイナンスに関する科目群を開講する。以下、具体的な開講科目は次の通りである。

1. 日常生活にかかわる商品・サービスを事例に実践的に経営の全体像を修得する科目を開講する。
2. 企業の実態に経営学の専門知識を適用し探求する科目を開講する。
3. 教養性と専門性ならびに倫理を総合的に学修する科目を開講する。
4. 専門3科目群の中に専門的知識を深める科目を開講する。
5. グローバル企業に求められる専門知識を英語で学ぶ科目を開講する。

6. 能動的学修や批判的思考を促進するための実習や演習が伴う科目を開講する。
7. 自立する企業人への準備として、研究成果などを発表し、審査を受ける科目を開講する。
8. 生涯にわたって学習が継続できる教養科目を開講する。

教育課程表

教育課程表の見方

教育課程表には、各学科で設定されている全ての授業科目、履修学年・学期、必要単位数等の一覧が掲載されています。科目選択や卒業要件なども記載されていますので、「卒業に必要な単位数」および別紙「カリキュラムマップ」とともによく読んで、科目を履修してください。

教育課程表は学科、入学年度によって異なりますので、自分の所属する学科、入学年度に該当する教育課程表を参照してください。また、外国人留学生は、外国人留学生を対象とした説明もよく読んでください。

科目は、必修科目、選択必修科目、選択科目などに分類されます。

- 1) 必修科目とは、定められた配当年次において必ず履修しなければならない授業科目です。
- 2) 選択必修科目は指定された単位数を複数の授業科目の中から選択して、履修する授業科目のことです。
- 3) 選択科目は自由に選択して履修できる授業科目です。単位数に関する規定はありません。
- 4) 自由科目は成績表には記載されますが、卒業単位には算入されない科目です。

記号の説明

- ◎：必修科目です。履修しなければならない学年が指定されています。単位が未修得の場合は、翌年度以降に履修しなければなりません。
- ：選択必修科目です。
- ◆：選択必修科目です。履修しなければならない学年が指定されています。単位が未修得の場合は、翌年度以降に履修しなければなりません。
- ：選択必修科目です。履修することができる学年/学期が指定されています。記号のある学年以外では履修できません。
- ：選択科目です。
- ◎：自由科目です。スポーツ健康科学部以外の課程表にありません。

記号がある欄の学年は履修できる最初の学年です。この記号のある学年以降の学年でも履修することができます。

春学期または秋学期のいずれかの学期に開講される科目は、春学期に記号がついています。春学期に記号がある科目が秋学期に開講される場合がありますので、履修したい科目が春学期の時間割にならない場合は、秋学期の時間割を見てください。

経済学科 教育課程表

1. 基本科目

経済学科の基本科目はすべて必修科目であり、合計で 20 単位あります。表にあるすべての科目を履修します。

1 年演習、2 年演習、3 年演習、4 年演習は通年科目です。演習の履修については「17. 演習の履修」に詳しい説明があります。

1 学年において、「情報リテラシー演習 I・II」を履修します。指定されたクラスで履修してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1 春	1 秋	2 春	2 秋	3 春	3 秋	4 春	4 秋	備考
必修科目 20 単位	演習		SEM01101	1 年演習	4	◎								
			SEM01202	2 年演習	4			◎						
			SEM01303	3 年演習	4					◎				
			SEM01404	4 年演習	4								◎	
	情報基礎		EIL01101	情報リテラシー演習 I	2	◎								
			EIL01102	情報リテラシー演習 II	2		◎							

2. 外国語科目

外国語科目には、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、朝鮮・韓国語と日本語の 8 言語があり、必修科目、選択必修科目と選択科目に分かれています。

(1) 必修科目

外国人留学生を除く学生は英語が必修科目、外国人留学生は日本語が必修科目です。外国人留学生を除く学生は 1 学年で 4 単位、2 学年で 2 単位の英語を履修します。外国人留学生は 1 学年で 4 単位、2 学年で 2 単位の日本語を履修します。指定されたクラスで履修してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1 春	1 秋	2 春	2 秋	3 春	3 秋	4 春	4 秋	備考	
必修科目 6 単位	外国語	英語	ENG01101	Comprehensive English 初級 I	1	◎									
			ENG01102	Comprehensive English 初級 II	1		◎								
			ENG01103	Introduction to TOEIC I	1	◎									
			ENG01104	Introduction to TOEIC II	1		◎								
			ENG01205	English Communication 初級 I	1			◎							
			ENG01206	English Communication 初級 II	1				◎						
	日本語	JPN01101	(外) 日本語 A I	1	◎									留学生履修科目	
		JPN01102	(外) 日本語 A II	1		◎								留学生履修科目	
		JPN01103	(外) 日本語 B I	1	◎									留学生履修科目	
		JPN01104	(外) 日本語 B II	1		◎								留学生履修科目	
		JPN01205	(外) 日本語 C I	1			◎							留学生履修科目	
		JPN01206	(外) 日本語 C II	1				◎						留学生履修科目	

(2) 選択必修科目

選択必修科目の外国語は 7 言語です。外国人留学生を除く学生はフランス語、ドイツ語、スペイン

語、ポルトガル語、中国語、朝鮮・韓国語から1つの言語（2単位）を入学時に選択して、1学年で履修します。外国人留学生は日本語（2単位）を2学年で履修します。指定されたクラスで履修してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択必修科目 2単位	外国語	フランス語	FRA01101	初級フランス語Ⅰ	1	◆									
			FRA01102	初級フランス語Ⅱ	1		◆								
		ドイツ語	GER01101	初級ドイツ語Ⅰ	1	◆									
			GER01102	初級ドイツ語Ⅱ	1		◆								
		スペイン語	SPA01101	初級スペイン語Ⅰ	1	◆									
			SPA01102	初級スペイン語Ⅱ	1		◆								
		ポルトガル語	POR01101	初級ポルトガル語Ⅰ	1	◆									
			POR01102	初級ポルトガル語Ⅱ	1		◆								
		中国語	CHI01101	初級中国語Ⅰ	1	◆									
			CHI01102	初級中国語Ⅱ	1		◆								
		朝鮮・韓国語	KOR01101	初級朝鮮・韓国語Ⅰ	1	◆									
			KOR01102	初級朝鮮・韓国語Ⅱ	1		◆								
		日本語	JPN01207	(外) 日本語DⅠ	1				◆						留学生履修科目
			JPN01208	(外) 日本語DⅡ	1					◆					留学生履修科目

(3) 選択科目

選択科目の外国語には、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語と朝鮮・韓国語があります。選択科目の外国語は2学年または3学年以降に自由に履修することができます。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択科目	外国語	英語	ENG01207	Comprehensive English 中級Ⅰ	1			○							
			ENG01208	Comprehensive English 中級Ⅱ	1				○						
			ENG01209	資格英語Ⅰ	1			○							
			ENG01210	資格英語Ⅱ	1				○						
			ENG01211	メディア英語Ⅰ	1			○							
			ENG01212	メディア英語Ⅱ	1				○						
			ENG01213	English WritingⅠ	1			○							
			ENG01214	English WritingⅡ	1				○						
			ENG01215	English ReadingⅠ	1			○							
			ENG01216	English ReadingⅡ	1				○						
			ENG01317	English Communication 中級Ⅰ	1					○					
			ENG01318	English Communication 中級Ⅱ	1						○				
		フランス語	FRA01203	フランス語会話Ⅰ	1			○							
			FRA01204	フランス語会話Ⅱ	1				○						
		ドイツ語	GER01203	ドイツ語会話Ⅰ	1			○							
			GER01204	ドイツ語会話Ⅱ	1				○						
		スペイン語	SPA01203	スペイン語会話Ⅰ	1			○							
			SPA01204	スペイン語会話Ⅱ	1				○						
		ポルトガル語	POR01203	ポルトガル語会話Ⅰ	1			○							
			POR01204	ポルトガル語会話Ⅱ	1				○						
		中国語	CHI01203	中国語会話Ⅰ	1			○							
			CHI01204	中国語会話Ⅱ	1				○						
		朝鮮・韓国語	KOR01203	朝鮮・韓国語会話Ⅰ	1			○							
			KOR01204	朝鮮・韓国語会話Ⅱ	1				○						

3. 教養科目

教養科目は必修科目と選択必修科目に分かれています。

(1) 必修科目

2学年において、「リベラルアーツ演習」を履修します。履修方法については、別途掲示します。

大区分	中区分	小区分	ナンバリング	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考
必修科目 2単位	教養 共通		LIA01201	リベラルアーツ演習	2			◎						

*春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

(2) 選択必修科目

選択必修科目には、人文、地域、社会、自然、スポーツ・健康の区分があります。表の科目から選択して、24単位以上を履修します。すべての科目を1学年から履修することができます。

(外) が付いている科目名は外国人留学生在が履修登録できる科目です。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考		
選択 必修 科目 24 単位 以上	教養 基礎	人文	HUM01101	哲学Ⅰ	2	●										
			HUM01102	哲学Ⅱ	2		●									
			HUM01103	社会倫理学Ⅰ	2	●										
			HUM01104	社会倫理学Ⅱ	2		●									
			HUM01105	宗教学Ⅰ	2	●										
			HUM01106	宗教学Ⅱ	2		●									
			HUM01107	美術史Ⅰ	2	●										
			HUM01108	美術史Ⅱ	2		●									
			HUM01109	言語論Ⅰ	2	●										
			HUM01110	言語論Ⅱ	2		●									
			HUM01111	現代文章論Ⅰ	2	●										
			HUM01112	現代文章論Ⅱ	2		●									
			HUM01113	考古学Ⅰ	2	●										
			HUM01114	考古学Ⅱ	2		●									
			HUM01115	人文地理学Ⅰ	2	●										
			HUM01116	人文地理学Ⅱ	2		●									
			HUM01117	民俗学Ⅰ	2	●										
			HUM01118	民俗学Ⅱ	2		●									
	地域		REG01101	文学（日本文学）Ⅰ	2	●										
			REG01102	文学（日本文学）Ⅱ	2		●									
			REG01103	文学（外国文学）Ⅰ	2	●										
			REG01104	文学（外国文学）Ⅱ	2		●									
			REG01105	歴史学入門（日本史）Ⅰ	2	●										
			REG01106	歴史学入門（日本史）Ⅱ	2		●									
			REG01107	歴史学入門（東洋史）Ⅰ	2	●										
			REG01108	歴史学入門（東洋史）Ⅱ	2		●									
			REG01109	歴史学入門（西洋史）Ⅰ	2	●										
			REG01110	歴史学入門（西洋史）Ⅱ	2		●									
			REG01111	日本文化論Ⅰ	2	●										
			REG01112	日本文化論Ⅱ	2		●									
			REG01113	外国文化論（アジア）Ⅰ	2	●										
			REG01114	外国文化論（アジア）Ⅱ	2		●									

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
	地域		REG01115	外国文化論（西欧）Ⅰ	2	●									
			REG01116	外国文化論（西欧）Ⅱ	2		●								
			REG01117	イスラム学Ⅰ	2	●									
			REG01118	イスラム学Ⅱ	2		●								
			REG01119	（外）日本事情（文化と生活）	2	●									留学生履修科目
			REG01120	（外）日本の思想	2	●									留学生履修科目
			REG01121	（外）日本の現在	2		●								留学生履修科目
	社会		LSO01101	憲法Ⅰ	2	●									
			LSO01102	憲法Ⅱ	2		●								
			LSO01103	法学Ⅰ	2	●									
			LSO01104	法学Ⅱ	2		●								
			LSO01105	政治学Ⅰ	2	●									
			LSO01106	政治学Ⅱ	2		●								
			LSO01107	社会学Ⅰ	2	●									
			LSO01108	社会学Ⅱ	2		●								
			LSO01109	心理学Ⅰ	2	●									
			LSO01110	心理学Ⅱ	2		●								
			LSO01111	教育学Ⅰ	2	●									
			LSO01112	教育学Ⅱ	2		●								
			LSO01113	現代女性論Ⅰ	2	●									
			LSO01114	現代女性論Ⅱ	2		●								
			LSO01115	社会環境論Ⅰ	2	●									
			LSO01116	社会環境論Ⅱ	2		●								
	自然		NAT01101	数学Ⅰ	2	●									
			NAT01102	数学Ⅱ	2		●								
			NAT01103	地球科学Ⅰ	2	●									
			NAT01104	地球科学Ⅱ	2		●								
			NAT01105	物質科学Ⅰ	2	●									
			NAT01106	物質科学Ⅱ	2		●								
			NAT01107	生命科学Ⅰ	2	●									
			NAT01108	生命科学Ⅱ	2		●								
			NAT01109	生態学Ⅰ	2	●									
			NAT01110	生態学Ⅱ	2		●								
			NAT01111	自然地理学Ⅰ	2	●									
			NAT01112	自然地理学Ⅱ	2		●								
			NAT01113	自然環境論Ⅰ	2	●									
			NAT01114	自然環境論Ⅱ	2		●								
	スポーツ・健康		SPH01101	スポーツ科学Ⅰ	2	●									
			SPH01102	スポーツ科学Ⅱ	2		●								
			SPH01103	健康科学論Ⅰ	2	●									
			SPH01104	健康科学論Ⅱ	2		●								
			SPH01105	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ	1	●									
			SPH01106	選択スポーツトレーニング実技Ⅱ	1		●								
			SPH01107	生涯スポーツの理論と実技	2	●									

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

4. キャリア科目

キャリア科目は選択必修科目です。キャリア形成、社会・企業研究、進路支援の区分があります。表にある科目から選択して、6単位以上を履修します。

キャリア科目には、RKU 入門などの認定科目が含まれています。これらの認定科目は、時間割にはありません。認定科目については、「20.単位の認定」に詳しい説明があります。

(特)の付いている科目は特別奨学生が履修登録する科目です。これらの科目は年間の最高履修単位数には含まれません。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考		
選択必修科目 6単位以上	キャリア形成	キャリア	CAD01101	R K U入門	1	■								認定科目		
			CAD01202	R K U実践	1			●							認定科目	
			CAD01203	(外) ビジネス日本語 I	1			●							留学生履修科目	
			CAD01204	(外) ビジネス日本語 II	1				●						留学生履修科目	
			CAD01105	(特) グローバルコミュニケーション (基礎)	1	◆										特別奨学生履修科目
			CAD01206	(特) グローバルコミュニケーション (発展)	1			◆								特別奨学生履修科目
			CAD01107	(特) キャリア特講 (基礎)	2	◆										特別奨学生履修科目
			CAD01208	(特) キャリア特講 (発展)	2			◆								特別奨学生履修科目
			CAD01309	(特) キャリア特講 (職業)	2						◆					特別奨学生履修科目
			CAD01110	キャリアデザイン	2	●										
			CAD01111	キャリアマネジメント	2		●									
			CAD01212	キャリアカウンセリング	2				●							
			CAD01113	海外研修	2	●										認定科目
	社会・企業研究			SCR01101	災害ボランティア I	1	●								認定科目	
				SCR01102	災害ボランティア II	1	●									認定科目
				SCR01203	日本通運寄付講座	2			●							
				SCR01110	日本通運寄付講座 II	2				●						
				SCR01204	全国通運連盟寄付講座	2			●							
				SCR01205	野村証券寄付講座	2			●							
				SCR01206	ダイレクトマーケティング実践講座	2			●							
				SCR01207	インターンシップ (準備)	2			●							
				SCR01208	インターンシップ (報告)	2				●						
				SCR01109	インターンシップ (海外)	2	●									
	進路支援			COS01101	キャリア基礎 (言語)	1	■	■								
				COS01102	キャリア基礎 (計算)	1	■	■								
				COS01203	キャリア発展 (文章)	1			■	■						
				COS01204	キャリア発展 (数理)	1			■	■						
				COS01305	職業選択論	2						●				
	学科選定			ECS01301	情報システム実践講座	2					●					
				ECS01302	ロジスティクス実践講座	2					●					
				ECS01303	国際物流実践講座	2					●					
				ECS01304	物流マネジメント実践講座	2					●					
				ECS01305	IoT ロジスティクス実践講座	2					●					
				ECS01306	地域ロジスティクス実践講座	2					●					

*春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

5. 専門科目

専門科目は必修科目、選択必修科目と選択科目に分かれており、専門共通、専門基礎、専門発展の区分があります。

(1) 必修科目

1学年において、「基礎ミクロ経済学」、「基礎マクロ経済学」を履修します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考
必修科目 4単位	専門 共通		ECC01101	基礎ミクロ経済学	2	◎								
			ECC01102	基礎マクロ経済学	2		◎							

(2) 選択必修科目

専門基礎科目から選択して、32単位以上を履修します。また、専門発展科目から選択して、8単位以上を履修します。合計として、選択必修科目から40単位以上を履修します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択必修科目	専門基礎	32単位以上	ECB01101	資本主義経済論Ⅰ	2	●									
			ECB01102	資本主義経済論Ⅱ	2		●								
			ECB01103	日本経済史Ⅰ	2	●									
			ECB01104	日本経済史Ⅱ	2		●								
			ECB01105	西洋経済史Ⅰ	2	●									
			ECB01106	西洋経済史Ⅱ	2		●								
			ECB01107	統計学概論Ⅰ	2	●									
			ECB01108	統計学概論Ⅱ	2		●								
			ECB01209	ミクロ経済学Ⅰ	2			●							
			ECB01210	ミクロ経済学Ⅱ	2				●						
			ECB01211	マクロ経済学Ⅰ	2			●							
			ECB01212	マクロ経済学Ⅱ	2				●						
			ECB01213	交通論Ⅰ	2			●							
			ECB01214	交通論Ⅱ	2				●						
			ECB01215	産業組織論Ⅰ	2			●							
			ECB01216	産業組織論Ⅱ	2				●						
			ECB01217	労働経済論Ⅰ	2			●							
			ECB01218	労働経済論Ⅱ	2				●						
			ECB01219	金融論Ⅰ	2			●							
			ECB01220	金融論Ⅱ	2				●						
			ECB01221	情報経済論Ⅰ	2			●							
			ECB01222	情報経済論Ⅱ	2				●						
			ECB01223	財政学Ⅰ	2			●							
			ECB01224	財政学Ⅱ	2				●						
			ECB01225	社会保障論Ⅰ	2			●							
			ECB01226	社会保障論Ⅱ	2				●						
			ECB01227	地域経済論Ⅰ	2			●							
			ECB01228	地域経済論Ⅱ	2				●						
			ECB01229	国際経済論Ⅰ	2			●							
			ECB01230	国際経済論Ⅱ	2				●						
			ECB01331	日本経済論Ⅰ	2					●					
			ECB01332	日本経済論Ⅱ	2						●				
			ECB01333	経済学史Ⅰ	2					●					
			ECB01334	経済学史Ⅱ	2						●				
			ECB01335	計量経済学Ⅰ	2					●					
ECB01336	計量経済学Ⅱ	2						●							
ECB01337	環境経済論Ⅰ	2					●								
ECB01338	環境経済論Ⅱ	2						●							
ECB01339	経済地理学Ⅰ	2					●								
ECB01340	経済地理学Ⅱ	2						●							
ECB01341	公共経済学Ⅰ	2					●								
ECB01342	公共経済学Ⅱ	2						●							
ECB01343	経済政策論Ⅰ	2					●								
ECB01344	経済政策論Ⅱ	2						●							
ECB01345	地方財政論Ⅰ	2					●								
ECB01346	地方財政論Ⅱ	2						●							
ECB01347	経済発展論Ⅰ	2					●								
ECB01348	経済発展論Ⅱ	2						●							
ECB01349	食料・農業経済学Ⅰ	2					●								
ECB01350	食料・農業経済学Ⅱ	2						●							

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
専門 発展	8 単 位 以 上		ECA01101	ビジネスデータベース演習	2	●									
			ECA01102	ソーシャルメディア演習	2		●								
			ECA01103	経営学総論Ⅰ	2	●									
			ECA01104	経営学総論Ⅱ	2		●								
			ECA01105	簿記論Ⅰ	2	●									
			ECA01106	簿記論Ⅱ	2		●								
			ECA01207	グローバルビジネス英語A	2			●							
			ECA01208	グローバルビジネス英語B	2				●						
			ECA01209	会計学Ⅰ	2			●							
			ECA01210	会計学Ⅱ	2				●						
			ECA01211	経営データ演習	2			●							
			ECA01212	経済データ演習	2				●						
			ECA01213	財務会計論Ⅰ	2			●							
			ECA01214	財務会計論Ⅱ	2				●						
			ECA01315	ビジネスプレゼンテーションⅠ	2					●					
			ECA01316	ビジネスプレゼンテーションⅡ	2						●				
			ECA01317	ベンチャーファイナンス	2					●					
			ECA01318	リスクマネジメントⅠ	2					●					
			ECA01319	リスクマネジメントⅡ	2						●				
			ECA01320	企業論Ⅰ	2					●					
			ECA01321	企業論Ⅱ	2						●				
			ECA01322	金融取引法	2					●					
			ECA01323	経済学特殊講義A	2					●					
			ECA01324	経済学特殊講義B	2					●					
			ECA01325	経済学特殊講義C	2					●					
			ECA01326	広告論Ⅰ	2					●					
			ECA01327	広告論Ⅱ	2						●				
			ECA01328	行政法（行政作用法）Ⅰ	2					●					
			ECA01329	行政法（行政作用法）Ⅱ	2						●				
			ECA01330	国際関係論Ⅰ	2					●					
			ECA01331	国際関係論Ⅱ	2						●				
			ECA01332	国際金融論Ⅰ	2					●					
			ECA01333	国際金融論Ⅱ	2						●				
			ECA01334	消費者行動論Ⅰ	2					●					
			ECA01335	消費者行動論Ⅱ	2						●				
			ECA01336	証券市場論	2					●					

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

(3) 選択科目

選択科目には、スポーツ健康科学関連科目、経済学関連科目、社会学関連科目、法学関連科目、流通情報学関連科目の区分があります。表から自由に科目を選択して、履修します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選 択 科 目	関 連 科 目	ス ポ ー ツ 健 康 科 学	SPO01201	コーチング論	2			○							
			SPO01202	スポーツとメディア	2					○					
			SPO01203	スポーツと国際協力	2							○			
			SPO01204	スポーツと政治	2							○			
			SPO01205	スポーツと文化	2				○						
			SPO01206	スポーツと法	2					○					
			SPO01207	スポーツマネジメント論	2				○						
			SPO01208	スポーツ栄養学Ⅰ	2						○				

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考		
		関連科目	SPO01209	スポーツ外傷・障害と予防	2					○						
			SPO01210	スポーツ社会学	2				○							
			SPO01211	スポーツ心理学	2			○								
			SPO01212	健康づくりとジョギング	2				○							
			SPO01213	体力トレーニング論	2			○								
			SPO01214	発育発達老化の理論・実習	2				○							
		経営学関連科目	MAN01201	Eビジネス論Ⅰ	2			○								
			MAN01202	Eビジネス論Ⅱ	2				○							
			MAN01203	マーケティング論Ⅰ	2			○								
			MAN01204	マーケティング論Ⅱ	2				○							
			MAN01205	経営財務論Ⅰ	2			○								
			MAN01206	経営財務論Ⅱ	2				○							
			MAN01207	経営情報システム論	2				○							
			MAN01208	経営情報論	2			○								
			MAN01209	原価計算論Ⅰ	2			○								
			MAN01210	原価計算論Ⅱ	2				○							
			MAN01211	事業戦略論	2			○								
			MAN01212	組織戦略論	2				○							
			MAN01213	事業創造論Ⅰ	2			○								
			MAN01214	事業創造論Ⅱ	2				○							
			MAN01215	人的資源管理論Ⅰ	2			○								
			MAN01016	人的資源管理論Ⅱ	2				○							
			MAN01217	流通政策論Ⅰ	2			○								
			MAN01218	流通政策論Ⅱ	2				○							
			MAN01219	流通論Ⅰ	2			○								
			MAN01220	流通論Ⅱ	2				○							
		社会学関連科目	SOL01101	社会調査実践法	2	○										
			SOL01102	社会調査法	2	○										
			SOL01203	グローバル化と文化	2			○								
			SOL01204	家族社会学	2			○								
			SOL01205	開発社会学	2			○								
			SOL01206	観光心理学	2			○								
			SOL01207	経済社会学	2			○								
			SOL01208	公的扶助論	2			○								
			SOL01209	国際社会学	2			○								
			SOL01210	産業・労働社会学	2			○								
			SOL01211	社会心理学	2			○								
			SOL01212	社会福祉原論Ⅰ	2			○								
			SOL01213	社会福祉原論Ⅱ	2				○							
			SOL01214	地域社会学	2			○								
			SOL01215	地域福祉論Ⅰ	2			○								
		SOL01216	地域福祉論Ⅱ	2				○								
SOL01217	文化人類学	2			○											
法学関連科目	LAW01201	刑法（総論）Ⅰ	2			○										
	LAW01202	刑法（総論）Ⅱ	2				○									
	LAW01203	経済法Ⅰ	2					○								
	LAW01204	経済法Ⅱ	2						○							
	LAW01205	国際法Ⅰ	2			○										
	LAW01206	国際法Ⅱ	2				○									
	LAW01207	商法（会社法）Ⅰ	2			○										
	LAW01208	商法（会社法）Ⅱ	2				○									
	LAW01309	商法（総則・商行為法）	2			○										
	LAW01310	商法（手形・小切手法）	2			○										
	LAW01311	商法（保険法）	2			○										

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考		
		法学 関連 科目	LAW01212	法制史Ⅰ	2			○								
			LAW01213	法制史Ⅱ	2				○							
			LAW01214	労働法Ⅰ	2						○					
			LAW01215	労働法Ⅱ	2							○				
			LAW01216	民法1（総則）	2			○								
			LAW01217	民法2（物権）	2				○							
			LAW01218	民法3（債権各論）Ⅰ	2			○								
			LAW01219	民法3（債権各論）Ⅱ	2				○							
			LAW01320	民法4（債権総論）	2						○					
			LAW01321	民法5（担保法）	2							○				
		流通 情報 学 関連 科目	DIS01101	ロジスティクス概論Ⅰ	2	○										
			DIS01102	ロジスティクス概論Ⅱ	2		○									
			DIS01103	情報学概論Ⅰ	2	○										
			DIS01104	情報学概論Ⅱ	2		○									
			DIS01205	グローバルロジスティクス論Ⅰ	2			○								
			DIS01206	グローバルロジスティクス論Ⅱ	2				○							
			DIS01207	ヒューマンインターフェイス論	2				○							
			DIS01308	ロジスティクスシステム論Ⅰ	2						○					
			DIS01309	ロジスティクスシステム論Ⅱ	2							○				
			DIS01210	ロジスティクスビジネス論Ⅰ	2			○								
			DIS01211	ロジスティクスビジネス論Ⅱ	2				○							
			DIS01312	災害ロジスティクス論	2						○					
			DIS01313	通信・ネットワーク概論	2						○					
			DIS01314	情報応用システム論	2						○					
			DIS01215	流通情報システム論Ⅰ	2			○								
			DIS01216	流通情報システム論Ⅱ	2				○							

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

6. 教職科目

教員免許を取得するために必要な科目です。表にある科目の20単位までを卒業単位に算入することができます。教員免許を取得するためには、表にある科目以外にも履修する科目がありますので、別冊「教職課程・履修の手引き」を参照してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選 択 科 目	教 職		TEA01101	教師論	2	○									
			TEA01102	教育原理	2	○									
			TEA01103	教育心理学	2	○									
			TEA01104	教育社会学概論	2	○									
			TEA01205	教育課程論	2			○							
			TEA01206	特別活動論	2			○							
			TEA01207	生徒指導論	2			○							
			TEA01208	教育相談	2			○							
			TEA01209	道徳教育論	2			○							
			TEA01310	教育方法学	2					○					

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

卒業に必要な単位数

卒業するために必要な必修科目、選択必修科目、選択科目の単位数は下表の通りです。

授業科目		修得単位数	
必修科目	基本科目	20 単位	32 単位
	外国語科目	6 単位	
	教養科目	2 単位	
	専門共通科目	4 単位	
選択必修科目	外国語科目	2 単位	72 単位以上 左記を含め 92 単位以上
	キャリア科目	6 単位以上	
	教養科目	24 単位以上	
	専門基礎科目	32 単位以上	
	専門発展科目	8 単位以上	
選択科目	外国語科目		
	関連科目		
	教職科目		
合計		124 単位	

卒業に必要な単位数は 124 単位であり、このうち必修科目の単位数は 32 単位です。残りの単位数は 92 単位ですので、選択必修科目と選択科目から 92 単位以上を履修しなければなりません。選択必修科目で指定されている履修単位数は 72 単位ですので、不足する 20 単位は、選択必修科目と選択科目から自由に履修してください。

副専攻

一つの学問分野について、下表で定める科目から 20 単位以上を修得した場合には、卒業時にその分野の「副専攻」を修了した旨を認定します。なお、スポーツ健康科学の各科目は、龍ヶ崎キャンパスでのみ開講されます。履修する際には、「19. 選択科目と副専攻」を参照してください。

大区分	分野	小区分	科目名	単 位	1 春	1 秋	2 春	2 秋	3 春	3 秋	4 春	4 秋	備考		
副 専 攻 科 目	副専攻 経営学 (注1)	必修科目 4単位	経営学総論Ⅰ	2	◎								専門共通科目		
			経営学総論Ⅱ	2		◎								専門共通科目	
		選択必修 科目 16単位 以上	Eビジネス論Ⅰ	2			●								選択科目(経営学関連科目)
			Eビジネス論Ⅱ	2				●							選択科目(経営学関連科目)
			マーケティング論Ⅰ	2			●								選択科目(経営学関連科目)
			マーケティング論Ⅱ	2				●							選択科目(経営学関連科目)
			経営財務論Ⅰ	2			●								選択科目(経営学関連科目)
			経営財務論Ⅱ	2				●							選択科目(経営学関連科目)
			経営情報システム論	2				●							選択科目(経営学関連科目)
			経営情報論	2			●								選択科目(経営学関連科目)
			原価計算論Ⅰ	2			●								選択科目(経営学関連科目)
			原価計算論Ⅱ	2				●							選択科目(経営学関連科目)
			事業戦略論	2			●								選択科目(経営学関連科目)
			組織戦略論	2				●							選択科目(経営学関連科目)
			事業創造論Ⅰ	2			●								選択科目(経営学関連科目)
			事業創造論Ⅱ	2				●							選択科目(経営学関連科目)
			人的資源管理論Ⅰ	2			●								選択科目(経営学関連科目)
			人的資源管理論Ⅱ	2				●							選択科目(経営学関連科目)
			流通政策論Ⅰ	2			●								選択科目(経営学関連科目)
			流通政策論Ⅱ	2				●							選択科目(経営学関連科目)
	流通論Ⅰ	2			●								選択科目(経営学関連科目)		
	流通論Ⅱ	2				●							選択科目(経営学関連科目)		
	副専攻 流通情報 学 (注2)	必修科目 4単位	ロジスティクス概論Ⅰ	2	◎									選択科目(流通情報学関連科目)	
			ロジスティクス概論Ⅱ	2		◎								選択科目(流通情報学関連科目)	
		選択必修 科目 16単位 以上	情報学概論Ⅰ	2	●										選択科目(流通情報学関連科目)
			情報学概論Ⅱ	2		●									選択科目(流通情報学関連科目)
			グローバルロジスティクス論Ⅰ	2			●								選択科目(流通情報学関連科目)
			グローバルロジスティクス論Ⅱ	2				●							選択科目(流通情報学関連科目)
			ヒューマンインターフェイス論	2				●							選択科目(流通情報学関連科目)
			ロジスティクスシステム論Ⅰ	2					●						選択科目(流通情報学関連科目)
			ロジスティクスシステム論Ⅱ	2						●					選択科目(流通情報学関連科目)
			ロジスティクスビジネス論Ⅰ	2			●								選択科目(流通情報学関連科目)
			ロジスティクスビジネス論Ⅱ	2				●							選択科目(流通情報学関連科目)
災害ロジスティクス論			2					●						選択科目(流通情報学関連科目)	
通信・ネットワーク概論			2						●					選択科目(流通情報学関連科目)	
情報応用システム論			2							●				選択科目(流通情報学関連科目)	
流通情報システム論Ⅰ			2			●								選択科目(流通情報学関連科目)	
流通情報システム論Ⅱ	2				●							選択科目(流通情報学関連科目)			
副専攻 社会学 (注3)	必修科目 4単位	社会学Ⅰ	2	◎									教養基礎科目		
		社会学Ⅱ	2		◎								教養基礎科目		
	選択必修 科目 16単位 以上	社会調査実践法	2	●										選択科目(社会学関連科目)	
		社会調査法	2	●										選択科目(社会学関連科目)	
		グローバル化と文化	2			●								選択科目(社会学関連科目)	
		家族社会学	2			●								選択科目(社会学関連科目)	
		開発社会学	2			●								選択科目(社会学関連科目)	
		観光心理学	2			●								選択科目(社会学関連科目)	
		経済社会学	2			●								選択科目(社会学関連科目)	

大区分	分野	小区分	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考				
		科目 16単位 以上	公的扶助論	2			●						選択科目(社会学関連科目)				
			国際社会学	2			●							選択科目(社会学関連科目)			
			産業・労働社会学	2			●							選択科目(社会学関連科目)			
			社会心理学	2			●							選択科目(社会学関連科目)			
			社会福祉原論Ⅰ	2			●							選択科目(社会学関連科目)			
			社会福祉原論Ⅱ	2				●						選択科目(社会学関連科目)			
			地域社会学	2			●							選択科目(社会学関連科目)			
			地域福祉論Ⅰ	2			●							選択科目(社会学関連科目)			
			地域福祉論Ⅱ	2					●					選択科目(社会学関連科目)			
			文化人類学	2					●						選択科目(社会学関連科目)		
	副専攻 法学 (注4)	必修科目 4単位	法学Ⅰ	2	●									教養基礎科目			
			法学Ⅱ	2		●								教養基礎科目			
		選択必修 科目 16単位 以上	刑法(総論)Ⅰ	2			●								選択科目(法学関連科目)		
			刑法(総論)Ⅱ	2				●							選択科目(法学関連科目)		
			経済法Ⅰ	2						●					選択科目(法学関連科目)		
			経済法Ⅱ	2							●				選択科目(法学関連科目)		
			国際法Ⅰ	2			●								選択科目(法学関連科目)		
			国際法Ⅱ	2				●							選択科目(法学関連科目)		
			商法(会社法)Ⅰ	2			●								選択科目(法学関連科目)		
			商法(会社法)Ⅱ	2				●							選択科目(法学関連科目)		
			商法(総則・商行為法)	2			●								選択科目(法学関連科目)		
			商法(手形・小切手法)	2			●								選択科目(法学関連科目)		
			商法(保険法)	2			●								選択科目(法学関連科目)		
			法制史Ⅰ	2			●								選択科目(法学関連科目)		
			法制史Ⅱ	2				●							選択科目(法学関連科目)		
			労働法Ⅰ	2						●					選択科目(法学関連科目)		
			労働法Ⅱ	2							●				選択科目(法学関連科目)		
			民法1(総則)	2			●								選択科目(法学関連科目)		
			民法2(物権)	2				●							選択科目(法学関連科目)		
			民法3(債権各論)Ⅰ	2			●								選択科目(法学関連科目)		
			民法3(債権各論)Ⅱ	2				●							選択科目(法学関連科目)		
			民法4(債権総論)	2					●						選択科目(法学関連科目)		
			民法5(担保法)	2							●				選択科目(法学関連科目)		
			副専攻 スポーツ 健康科学 (注5)	選択必修 科目(1) 4単位以上	スポーツ科学Ⅰ	2	●									教養基礎科目	
					スポーツ科学Ⅱ	2		●								教養基礎科目	
					健康科学論Ⅰ	2	●									教養基礎科目	
					健康科学論Ⅱ	2		●								教養基礎科目	
				選択必修 科目(2) 12単位 以上	コーチング論	2			●								選択科目(スポーツ健康科学関連科目)
					スポーツとメディア	2						●					選択科目(スポーツ健康科学関連科目)
					スポーツと国際協力	2								●			選択科目(スポーツ健康科学関連科目)
	スポーツと政治	2									●				選択科目(スポーツ健康科学関連科目)		
	スポーツと文化	2					●								選択科目(スポーツ健康科学関連科目)		
スポーツと法	2						●							選択科目(スポーツ健康科学関連科目)			
スポーツマネジメント論	2					●								選択科目(スポーツ健康科学関連科目)			
スポーツ栄養学Ⅰ	2						●							選択科目(スポーツ健康科学関連科目)			
スポーツ外傷・障害と予防	2								●					選択科目(スポーツ健康科学関連科目)			
スポーツ社会学	2							●						選択科目(スポーツ健康科学関連科目)			
スポーツ心理学	2					●								選択科目(スポーツ健康科学関連科目)			
健康づくりとジョギング	2						●							選択科目(スポーツ健康科学関連科目)			
体力トレーニング論	2					●								選択科目(スポーツ健康科学関連科目)			
発育発達老化の理論・実習	2						●							選択科目(スポーツ健康科学関連科目)			

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

注1：この欄から 20 単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「経営学」を修了した旨の認定を行う。

注2：この欄から 20 単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「流通情報学」を修了した旨の認定を行う。

注3：この欄から 20 単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「社会学」を修了した旨の認定を行う。

注4：この欄から 20 単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「法学」を修了した旨の認定を行う。

注5：この欄から 20 単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「スポーツ健康科学」を修了した旨の認定を行う。

経営学科 教育課程表

1. 基本科目

経営学科の基本科目はすべて必修科目であり、合計で 22 単位あります。表にあるすべての科目を履修します。

1 年演習、2 年演習、3 年演習、4 年演習は 4 単位、卒業研究は 2 単位です。演習の履修については「17. 演習の履修」、卒業研究については「18. 卒業研究」に詳しい説明があります。

1 学年において、「情報リテラシー演習Ⅰ・Ⅱ」を履修します。指定されたクラスで履修してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
必修科目 22 単位	演習		SEM02101	1 年演習	4	◎									
			SEM02202	2 年演習	4			◎							
			SEM02303	3 年演習	4					◎					
			SEM02404	4 年演習	4								◎		
	卒業研究		TSG02401	卒業研究	2								◎		
	情報基礎		EIL02101	情報リテラシー演習Ⅰ	2	◎									
			EIL02102	情報リテラシー演習Ⅱ	2		◎								

2. 外国語科目

外国語科目には、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、朝鮮・韓国語と日本語の 8 言語があり、必修科目、選択必修科目と選択科目に分かれています。

(1) 必修科目

外国人留学生を除く学生は英語が必修科目、外国人留学生は日本語が必修科目です。外国人留学生を除く学生は 1 学年で 4 単位、2 学年で 2 単位の英語を履修します。外国人留学生は 1 学年で 4 単位、2 学年で 2 単位の日本語を履修します。指定されたクラスで履修してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
必修科目 6 単位	外国語	英語	ENG02101	Comprehensive English 初級Ⅰ	1	◎									
			ENG02102	Comprehensive English 初級Ⅱ	1		◎								
			ENG02103	Introduction to TOEIC Ⅰ	1	◎									
			ENG02104	Introduction to TOEIC Ⅱ	1		◎								
			ENG02205	English Communication 初級Ⅰ	1			◎							
			ENG02206	English Communication 初級Ⅱ	1				◎						
	日本語		JPN02101	(外) 日本語 A Ⅰ	1	◎									留学生履修科目
			JPN02102	(外) 日本語 A Ⅱ	1		◎								留学生履修科目
			JPN02103	(外) 日本語 B Ⅰ	1	◎									留学生履修科目
			JPN02104	(外) 日本語 B Ⅱ	1		◎								留学生履修科目
			JPN02205	(外) 日本語 C Ⅰ	1			◎							留学生履修科目
			JPN02206	(外) 日本語 C Ⅱ	1				◎						留学生履修科目

(2) 選択必修科目

選択必修科目の外国語は7言語です。外国人留学生を除く学生はフランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、朝鮮・韓国語から1つの言語（2単位）を入学時に選択して、1学年で履修します。外国人留学生は日本語（2単位）を2学年で履修します。指定されたクラスで履修してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択必修科目 2単位	外国語	フランス語	FRA02101	初級フランス語 I	1	◆									
			FRA02102	初級フランス語 II	1		◆								
		ドイツ語	GER02101	初級ドイツ語 I	1	◆									
			GER02102	初級ドイツ語 II	1		◆								
		スペイン語	SPA02101	初級スペイン語 I	1	◆									
			SPA02102	初級スペイン語 II	1		◆								
		ポルトガル語	POR02101	初級ポルトガル語 I	1	◆									
			POR02102	初級ポルトガル語 II	1		◆								
		中国語	CHI02101	初級中国語 I	1	◆									
			CHI02102	初級中国語 II	1		◆								
		朝鮮・韓国語	KOR02101	初級朝鮮・韓国語 I	1	◆									
			KOR02102	初級朝鮮・韓国語 II	1		◆								
		日本語	JPN02207	(外) 日本語D I	1				◆						留学生履修科目
			JPN02208	(外) 日本語D II	1					◆					留学生履修科目

(3) 選択科目

選択科目の外国語には、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語と朝鮮・韓国語があります。選択科目の外国語は2学年または3学年以降に自由に履修することができます。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考		
選択科目	外国語	英語	ENG02207	Comprehensive English 中級 I	1			○								
			ENG02208	Comprehensive English 中級 II	1				○							
			ENG02209	資格英語 I	1			○								
			ENG02210	資格英語 II	1				○							
			ENG02211	メディア英語 I	1			○								
			ENG02212	メディア英語 II	1				○							
			ENG02213	English Writing I	1			○								
			ENG02214	English Writing II	1				○							
			ENG02215	English Reading I	1			○								
			ENG02216	English Reading II	1				○							
			ENG02317	English Communication 中級 I	1						○					
			ENG02318	English Communication 中級 II	1							○				
			フランス語	FRA02203	フランス語会話 I	1			○							
				FRA02204	フランス語会話 II	1				○						
		ドイツ語	GER02203	ドイツ語会話 I	1			○								
			GER02204	ドイツ語会話 II	1				○							
		スペイン語	SPA02203	スペイン語会話 I	1			○								
			SPA02204	スペイン語会話 II	1				○							
		ポルトガル語	POR02203	ポルトガル語会話 I	1			○								
			POR02204	ポルトガル語会話 II	1				○							
		中国語	CHI02203	中国語会話 I	1			○								
			CHI02204	中国語会話 II	1				○							
		朝鮮・韓国語	KOR02203	朝鮮・韓国語会話 I	1			○								
			KOR02204	朝鮮・韓国語会話 II	1				○							

3. 教養科目

教養科目は必修科目と選択必修科目に分かれています。

(1) 必修科目

2学年において、「リベラルアーツ演習」を履修します。履修方法については、別途掲示します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考
必修科目 2単位	教養 共通		LIA02201	リベラルアーツ演習	2			◎						

*春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

(2) 選択必修科目

選択必修科目には、人文、地域、社会、自然、スポーツ・健康の区分があります。表の科目から選択して、24単位以上を履修します。すべての科目を1学年から履修することができます。

(外) が付いている科目名は外国人留学生在が履修登録できる科目です。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考		
選択 必修 科目 24 単位 以上	教養 基礎	人文	HUM02101	哲学Ⅰ	2	●										
			HUM02102	哲学Ⅱ	2		●									
			HUM02103	社会倫理学Ⅰ	2	●										
			HUM02104	社会倫理学Ⅱ	2		●									
			HUM02105	宗教学Ⅰ	2	●										
			HUM02106	宗教学Ⅱ	2		●									
			HUM02107	美術史Ⅰ	2	●										
			HUM02108	美術史Ⅱ	2		●									
			HUM02109	言語論Ⅰ	2	●										
			HUM02110	言語論Ⅱ	2		●									
			HUM02111	現代文章論Ⅰ	2	●										
			HUM02112	現代文章論Ⅱ	2		●									
			HUM02113	考古学Ⅰ	2	●										
			HUM02114	考古学Ⅱ	2		●									
			HUM02115	人文地理学Ⅰ	2	●										
			HUM02116	人文地理学Ⅱ	2		●									
			HUM02117	民俗学Ⅰ	2	●										
			HUM02118	民俗学Ⅱ	2		●									
	地域		REG02101	文学（日本文学）Ⅰ	2	●										
			REG02102	文学（日本文学）Ⅱ	2		●									
			REG02103	文学（外国文学）Ⅰ	2	●										
			REG02104	文学（外国文学）Ⅱ	2		●									
			REG02105	歴史学入門（日本史）Ⅰ	2	●										
			REG02106	歴史学入門（日本史）Ⅱ	2		●									
			REG02107	歴史学入門（東洋史）Ⅰ	2	●										
			REG02108	歴史学入門（東洋史）Ⅱ	2		●									
			REG02109	歴史学入門（西洋史）Ⅰ	2	●										
			REG02110	歴史学入門（西洋史）Ⅱ	2		●									
			REG02111	日本文化論Ⅰ	2	●										
			REG02112	日本文化論Ⅱ	2		●									
			REG02113	外国文化論（アジア）Ⅰ	2	●										
			REG02114	外国文化論（アジア）Ⅱ	2		●									

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
	地域		REG02115	外国文化論（西欧）Ⅰ	2	●									
			REG02116	外国文化論（西欧）Ⅱ	2		●								
			REG02117	イスラム学Ⅰ	2	●									
			REG02118	イスラム学Ⅱ	2		●								
			REG02119	（外）日本事情（文化と生活）	2	●									留学生履修科目
			REG02120	（外）日本の思想	2	●									留学生履修科目
			REG02121	（外）日本の現在	2		●								留学生履修科目
	社会		LSO02101	憲法Ⅰ	2	●									
			LSO02102	憲法Ⅱ	2		●								
			LSO02103	法学Ⅰ	2	●									
			LSO02104	法学Ⅱ	2		●								
			LSO02105	政治学Ⅰ	2	●									
			LSO02106	政治学Ⅱ	2		●								
			LSO02107	経済学Ⅰ	2	●									
			LSO02108	経済学Ⅱ	2		●								
			LSO02109	社会学Ⅰ	2	●									
			LSO02110	社会学Ⅱ	2		●								
			LSO02111	心理学Ⅰ	2	●									
			LSO02112	心理学Ⅱ	2		●								
			LSO02113	教育学Ⅰ	2	●									
			LSO02114	教育学Ⅱ	2		●								
			LSO02115	現代女性論Ⅰ	2	●									
			LSO02116	現代女性論Ⅱ	2		●								
			LSO02117	社会環境論Ⅰ	2	●									
			LSO02118	社会環境論Ⅱ	2		●								
	自然		NAT02101	数学Ⅰ	2	●									
			NAT02102	数学Ⅱ	2		●								
			NAT02103	地球科学Ⅰ	2	●									
			NAT02104	地球科学Ⅱ	2		●								
			NAT02105	物質科学Ⅰ	2	●									
			NAT02106	物質科学Ⅱ	2		●								
			NAT02107	生命科学Ⅰ	2	●									
			NAT02108	生命科学Ⅱ	2		●								
			NAT02109	生態学Ⅰ	2	●									
			NAT02110	生態学Ⅱ	2		●								
			NAT02111	自然地理学Ⅰ	2	●									
			NAT02112	自然地理学Ⅱ	2		●								
			NAT02113	自然環境論Ⅰ	2	●									
			NAT02114	自然環境論Ⅱ	2		●								
	スポーツ・健康		SPH02101	スポーツ科学Ⅰ	2	●									
			SPH02102	スポーツ科学Ⅱ	2		●								
			SPH02103	健康科学論Ⅰ	2	●									
			SPH02104	健康科学論Ⅱ	2		●								
			SPH02105	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ	1	●									
			SPH02106	選択スポーツトレーニング実技Ⅱ	1		●								
			SPH02107	生涯スポーツの理論と実技	2	●									

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

4. キャリア科目

キャリア科目は選択必修科目です。キャリア形成、社会・企業研究、進路支援の区分があります。表にある科目から選択して、6単位以上を履修します。

キャリア科目には、RKU 入門などの認定科目が含まれています。これらの認定科目は、時間割にはありません。認定科目については、「20.単位の認定」に詳しい説明があります。

(特) の付いている科目は特別奨学生が履修登録する科目です。これらの科目は年間の最高履修単位数には含まれません。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択必修科目 6単位以上	キャリア形成	キャリア	CAD02101	RKU 入門	1	■								認定科目	
		キャリア	CAD02202	RKU 実践	1			●							認定科目
		キャリア	CAD02203	(外) ビジネス日本語 I	1			●							留学生履修科目
		キャリア	CAD02204	(外) ビジネス日本語 II	1				●						留学生履修科目
		キャリア	CAD02105	(特) グローバルコミュニケーション (基礎)	1	◆									特別奨学生履修科目
		キャリア	CAD02206	(特) グローバルコミュニケーション (発展)	1			◆							特別奨学生履修科目
		キャリア	CAD02107	(特) キャリア特講 (基礎)	2	◆									特別奨学生履修科目
		キャリア	CAD02208	(特) キャリア特講 (発展)	2			◆							特別奨学生履修科目
		キャリア	CAD02309	(特) キャリア特講 (職業)	2					◆					特別奨学生履修科目
		キャリア	CAD02110	キャリアデザイン	2	●									
		キャリア	CAD02111	キャリアマネジメント	2		●								
		キャリア	CAD02212	キャリアカウンセリング	2				●						
		キャリア	CAD02113	海外研修	2	●									認定科目
	社会・企業研究	社会	SCR02101	災害ボランティア I	1	●									認定科目
	社会・企業研究	社会	SCR02102	災害ボランティア II	1	●									認定科目
	社会・企業研究	企業	SCR02203	日本通運寄付講座	2			●							
	社会・企業研究	企業	SCR01110	日本通運寄付講座 II	2				●						
	社会・企業研究	企業	SCR02204	全国通運連盟寄付講座	2			●							
	社会・企業研究	企業	SCR02205	野村証券寄付講座	2			●							
	社会・企業研究	企業	SCR02206	インターンシップ (準備)	2			●							
	社会・企業研究	企業	SCR02207	インターンシップ (報告)	2				●						
	社会・企業研究	企業	SCR02108	インターンシップ (海外)	2	●									認定科目
	進路支援	進路	COS02101	キャリア基礎 (言語)	1	■	■								
	進路支援	進路	COS02102	キャリア基礎 (計算)	1	■	■								
	進路支援	進路	COS02203	キャリア発展 (文章)	1			■	■						
	進路支援	進路	COS02204	キャリア発展 (数理)	1			■	■						
	進路支援	進路	COS02305	職業選択論	2						●				

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

5. 専門科目

専門科目は必修科目、選択必修科目と選択科目に分かれており、専門共通、専門基礎、専門発展の区分があります。

(1) 必修科目

1 学年において、「経営入門」、「経営学総論 I・II」を履修します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
必修科目 6単位	専門共通		MAC02101	経営入門	2	◎									
			MAC02102	経営学総論 I	2	◎									
			MAC02103	経営学総論 II	2		◎								

(2) 選択必修科目

専門共通科目から4単位以上、専門基礎科目から32単位以上、専門発展科目から10単位以上を履修します。合計として、選択必修科目から46単位以上を履修します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択必修科目 46単位以上	専門共通 4単位以上		MAC02204	会計学Ⅰ	2			●							
			MAC02205	会計学Ⅱ	2				●						
			MAC02206	流通論Ⅰ	2			●							
			MAC02207	流通論Ⅱ	2				●						
		専門基礎 32単位以上		MAB02101	簿記論Ⅰ	2	●								
			MAB02102	簿記論Ⅱ	2		●								
			MAB02103	Eビジネス論Ⅰ	2	●									
			MAB02104	Eビジネス論Ⅱ	2		●								
			MAB02105	ビジネスデータベース演習	2	●									
			MAB02106	ソーシャルメディア演習	2		●								
			MAB02207	マーケティング論Ⅰ	2			●							
			MAB02208	マーケティング論Ⅱ	2				●						
			MAB02209	経営財務論Ⅰ	2			●							
			MAB02210	経営財務論Ⅱ	2				●						
			MAB02211	経営情報システム論	2				●						
			MAB02212	経営情報論	2			●							
			MAB02213	人的資源管理論Ⅰ	2			●							
			MAB02214	人的資源管理論Ⅱ	2				●						
			MAB02215	事業創造論Ⅰ	2			●							
			MAB02216	事業創造論Ⅱ	2				●						
			MAB02217	事業戦略論	2			●							
			MAB02218	組織戦略論	2				●						
			MAB02219	流通政策論Ⅰ	2			●							
			MAB02220	流通政策論Ⅱ	2				●						
			MAB02221	ビジネスゲーム	2			●							
			MAB02222	企業論Ⅰ	2			●							
			MAB02223	企業論Ⅱ	2				●						
			MAB02224	起業家育成講座Ⅰ	2			●							
			MAB02225	起業家育成講座Ⅱ	2				●						
			MAB02226	原価計算論Ⅰ	2			●							
			MAB02227	原価計算論Ⅱ	2				●						
			MAB02228	ビジネスプレゼンテーションⅠ	2			●							
			MAB02229	ビジネスプレゼンテーションⅡ	2				●						
			MAB02230	財務会計論Ⅰ	2			●							
			MAB02231	財務会計論Ⅱ	2				●						
			MAB02232	消費者行動論Ⅰ	2			●							
			MAB02233	消費者行動論Ⅱ	2				●						
			MAB02234	商法（会社法）Ⅰ	2			●							
			MAB02235	商法（会社法）Ⅱ	2				●						
			MAB02236	中級簿記論Ⅰ	2	●									
			MAB02237	中級簿記論Ⅱ	2		●								
			専門発展		MAA02101	上級簿記論Ⅰ	2	●							
		MAA02102		上級簿記論Ⅱ	2		●								

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考		
10 単位 以上			MAA02103	統計学概論 I	2	●										
			MAA02104	統計学概論 II	2		●									
			MAA02105	経済データ演習	2	●										
			MAA02106	経営データ演習	2		●									
			MAA02207	経営史 I	2			●								
			MAA02208	経営史 II	2				●							
			MAA02209	管理会計論 I	2			●								
			MAA02210	管理会計論 II	2				●							
			MAA02213	広告論 I	2			●								
			MAA02214	広告論 II	2				●							
			MAA02215	国際小売論	2			●								
			MAA02216	ベンチャーファイナンス	2			●								
			MAA02217	証券市場論	2				●							
			MAA02218	リスクマネジメント I	2			●								
			MAA02219	リスクマネジメント II	2				●							
			MAA02220	金融論 I	2			●								
			MAA02221	金融論 II	2				●							
			MAA02222	国際金融論 I	2			●								
			MAA02223	国際金融論 II	2				●							
			MAA02324	商法 (総則・商行為法)	2					●						
			MAA02325	商法 (手形・小切手法)	2						●					
			MAA02226	経営学特殊講義 A	2			●								
			MAA02227	経営学特殊講義 B	2			●								
			MAA02228	経営学特殊講義 C	2			●								
			MAA02229	税法 (法人税法)	2			●								
			MAA02230	社会的企業論	2			●								
			MAA02331	ロジスティクス実践講座	2					●						
			MAA02232	ダイレクトマーケティング実践講座	2			●								
			MAA02233	グローバルビジネス英語 A	2			●								
			MAA02234	グローバルビジネス英語 B	2				●							
			MAA02335	IoT ロジスティクス実践講座	2					●						
			MAA02336	地域ロジスティクス実践講座	2					●						

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

(3) 選択科目

選択科目には、スポーツ健康科学関連科目、経済学関連科目、社会学関連科目、法学関連科目、流通情報学関連科目の区分があります。表から自由に科目を選択して、履修します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択 科目	専門 関連 科目	ス ポ ー ツ 健 康 科 学	SPO02201	コーチング論	2			○							
			SPO02202	スポーツとメディア	2				○						
			SPO02203	スポーツと国際協力	2			○							
			SPO02204	スポーツと政治	2				○						
			SPO02205	スポーツと文化	2			○							
			SPO02206	スポーツと法	2				○						
			SPO02207	スポーツマネジメント論	2			○							
			SPO02208	スポーツ栄養学 I	2				○						

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考		
		関連科目	SPO02209	スポーツ外傷・障害と予防	2			○								
			SPO02210	スポーツ社会学	2				○							
			SPO02211	スポーツ心理学	2			○								
			SPO02212	健康づくりとジョギング	2				○							
			SPO02213	体力トレーニング論	2			○								
			SPO02214	発育発達老化の理論・実習	2				○							
		経済学関連科目	ECO02101	日本経済史Ⅰ	2	○										
			ECO02102	日本経済史Ⅱ	2		○									
			ECO02103	西洋経済史Ⅰ	2	○										
			ECO02104	西洋経済史Ⅱ	2		○									
			ECO02205	経済地理学Ⅰ	2			○								
			ECO02206	経済地理学Ⅱ	2				○							
			ECO02207	ミクロ経済学Ⅰ	2			○								
			ECO02208	ミクロ経済学Ⅱ	2				○							
			ECO02209	マクロ経済学Ⅰ	2			○								
			ECO02210	マクロ経済学Ⅱ	2				○							
			ECO02211	産業組織論Ⅰ	2			○								
			ECO02212	産業組織論Ⅱ	2				○							
			ECO02213	財政学Ⅰ	2			○								
			ECO02214	財政学Ⅱ	2				○							
			ECO02215	地域経済論Ⅰ	2			○								
			ECO02216	地域経済論Ⅱ	2				○							
			ECO02217	国際経済論Ⅰ	2			○								
			ECO02218	国際経済論Ⅱ	2				○							
			ECO02219	交通論Ⅰ	2			○								
			ECO02220	交通論Ⅱ	2				○							
			ECO02221	社会保障論Ⅰ	2			○								
			ECO02222	社会保障論Ⅱ	2				○							
			ECO02223	労働経済論Ⅰ	2			○								
			ECO02224	労働経済論Ⅱ	2				○							
			ECO02225	経済発展論Ⅰ	2			○								
			ECO02226	経済発展論Ⅱ	2				○							
			ECO02227	情報経済論Ⅰ	2			○								
			ECO02228	情報経済論Ⅱ	2				○							
			ECO02329	経済学史Ⅰ	2					○						
			ECO02330	経済学史Ⅱ	2						○					
			ECO02331	日本経済論Ⅰ	2					○						
			ECO02332	日本経済論Ⅱ	2						○					
			ECO02333	公共経済学Ⅰ	2					○						
			ECO02334	公共経済学Ⅱ	2						○					
		社会学関連科目	SOC02101	社会調査実践法	2	○										
			SOC02102	社会調査法	2	○										
			SOC02203	家族社会学	2			○								
SOC02204	開発社会学		2			○										
SOC02205	観光心理学		2				○									
SOC02206	教育社会学		2			○										
SOC02207	経済社会学		2			○										
SOC02208	国際社会学		2			○										
SOC02209	産業・労働社会学		2			○										

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考		
			SOC02210	社会心理学	2			○								
			SOC02211	文化人類学	2			○								
		法学 関連 科目	LAW02201	刑法（総論）Ⅰ	2			○								
			LAW02202	刑法（総論）Ⅱ	2				○							
			LAW02203	経済法Ⅰ	2			○								
			LAW02204	経済法Ⅱ	2				○							
			LAW02205	労働法Ⅰ	2			○								
			LAW02206	労働法Ⅱ	2				○							
			LAW02207	民法1（総則）	2			○								
			LAW02208	民法2（物権）	2				○							
			LAW02209	民法3（債権各論）Ⅰ	2			○								
			LAW02210	民法3（債権各論）Ⅱ	2				○							
			LAW02311	民法4（債権総論）	2					○						
			LAW02312	民法5（担保法）	2						○					
			LAW02313	商法（保険法）	2						○					
			流通 情報 学 関連 科目	DIS02101	ロジスティクス概論Ⅰ	2	○									
		DIS02102		ロジスティクス概論Ⅱ	2		○									
		DIS02103		情報学概論Ⅰ	2	○										
		DIS02104		情報学概論Ⅱ	2		○									
		DIS02205		グローバルロジスティクス論Ⅰ	2			○								
		DIS02206		グローバルロジスティクス論Ⅱ	2				○							
		DIS02207		ヒューマンインターフェイス論	2				○							
		DIS02308		ロジスティクスシステム論Ⅰ	2					○						
		DIS02309		ロジスティクスシステム論Ⅱ	2						○					
		DIS02310		ロジスティクスビジネス論Ⅰ	2			○								
		DIS02311		ロジスティクスビジネス論Ⅱ	2				○							
		DIS02312		情報応用システム論	2					○						
		DIS02313		流通情報システム論Ⅰ	2			○								
		DIS02314		流通情報システム論Ⅱ	2				○							

*春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

6. 教職科目

教員免許を取得するために必要な科目です。表にある科目の10単位までを卒業単位に算入することができます。教員免許を取得するためには、表にある科目以外にも履修する科目がありますので、別冊「教職課程・履修の手引き」を参照してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考
選択 科目	教職		TEA02101	教師論	2	○								
		TEA02102	教育原理	2	○									
		TEA02103	教育心理学	2	○									
		TEA02104	教育社会学概論	2	○									
		TEA02205	教育課程論	2			○							
		TEA02206	特別活動論	2			○							
		TEA02207	生徒指導論	2			○							
		TEA02208	教育相談	2			○							

	TEA02209	道德教育論	2			○				
	TEA02310	教育方法学	2				○			

*春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

卒業に必要な単位数

卒業するために必要な必修科目、選択必修科目、選択科目の単位数は下表の通りです。

授業科目		修得単位数	
必修科目	基本科目	22 単位	36 単位
	外国語科目	6 単位	
	教養科目	2 単位	
	専門科目	6 単位	
選択必修科目	外国語科目	2 単位	78 単位以上 左記を含め 88 単位以上
	キャリア科目	6 単位以上	
	教養科目	24 単位以上	
	専門共通科目	4 単位以上	
	専門基礎科目	32 単位以上	
	専門発展科目	10 単位以上	
選択科目	外国語科目		
	専門関連科目		
	教職科目		
合計		124 単位	

卒業に必要な単位数は 124 単位であり、このうち必修科目の単位数は 36 単位です。残りの単位数は 88 単位ですので、選択必修科目と選択科目から 88 単位以上を履修しなければなりません。選択必修科目で指定されている履修単位数は 78 単位ですので、不足する 10 単位は、選択必修科目と選択科目から自由に履修してください。

カリキュラムマップ

一般教養科目は、次のような分野に大別される。

人文分野

人類の歩みと文化、さらに人間のあり方や生き方を考え、正しい言葉遣いに対する意識をはぐくみ、知性と感性のバランスがとれた円満な人格を形成するため、それに不可欠な知識を習得する。

地域分野

世界の特定の地域に焦点を絞り、その歴史、宗教、文化、文学、民俗、民族、などを、フィールドワーク（現地調査）の成果をも踏まえつつ、専門的に掘り下げる。担当者は、独自に蓄えた専門知識を活かし、概論とは一味違う講義を行なうだろう。

社会分野

さまざまな視野や立場から、主として現代社会の仕組みを学ぶとともに、社会の一構成員として責任感をもって生きることの大切さを考える。

自然分野

自然や宇宙のなりたち、ヒトや生き物全般について考察を深め、数理的・論理的な思考方法を身につける。環境問題や生命倫理なども、主としてこの分野で扱う。

スポーツ・健康分野

健康の保持増進に資する科目・実技のほか、スポーツ科学の理論を学ぶ。主体的な身体の実験、つまり、体をみずからの意志で動かし、その効能をみずからの体で感じる、という体験を、理論および実技の両面から積む。「生涯スポーツ」を意識した実践科目を配し、健康長寿に役立つ知識を身につける。

外国語

〔英語〕 1年次、必修科目

「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能をバランスよく伸ばすための「Comprehensive English 初級 I・II」を、さらに、資格試験 TOEIC 受験を念頭において、実用的な英語の運用能力を高めるための「Introduction to TOEIC I・II」を、それぞれ開講する。2年次には、必修科目として、「English Communication 初級 I・II」を開講し、会話を中心としたコミュニケーション能力の向上をめざす。

2年次以降、選択科目

「Comprehensive English 中級 I・II」「資格英語 I・II」「メディア英語 I・II」「English Writing I・II」「English Reading I・II」を、開講する。3年次以降には、選択科目として、「English Communication 中級 I・II」を、開講する。

〔第二外国語〕 1年次、選択必修科目

フランス語、スペイン語、ポルトガル語、ドイツ語、中国語、朝鮮・韓国語より1科目を選択する。

〔日本語〕 1年次、必修科目（外国人留学生対象）

「日本語 A I・II」および「日本語 B I・II」を、開講する。前者では、日本語の資料や文章を、辞書を使いながら読む力を養う。後者では、授業で課されるレポート作成の基礎となる書く力を養い、さらに日本語能力試験 N2 合格レベルの、総合的な日本語力をつける。

2年次以降、必修科目（外国人留学生対象）

「日本語 C I・II」および「日本語 D I・II」を、開講する。前者では、学術的な文章を読みこなす力を、後者では、論文執筆の基礎となる作文力を身につけることを目標とし、日本語能力試験 N1 合格のための実力を養成する。

リベラルアーツ演習

2年次、必修科目（スポーツ健康科学部を除く）

一般教養科目カリキュラムマップ

	外国語科目			教養科目						
	必修科目	選択必修科目	選択科目	必修科目	選択必修科目					
					人文	地域	社会	自然	スポーツ・健康	
4年										
3年			English Communication中級I English Communication中級II							
2年	English Communication初級I English Communication初級II (外)日本語C I (外)日本語C II	(外)日本語D I (外)日本語D II	Comprehensive English 中級I Comprehensive English 中級II 資格英語 I 資格英語 II メディア英語 I メディア英語 II English Writing I English Writing II English Reading I English Reading II フランス語会話 I フランス語会話 II ドイツ語会話 I ドイツ語会話 II スペイン語会話 I スペイン語会話 II ポルトガル語会話 I ポルトガル語会話 II 中国語会話 I 中国語会話 II 朝鮮・韓国語会話 I 朝鮮・韓国語会話 II	リベラルアーツ演習	哲学 I 哲学 II 社会倫理学 I 社会倫理学 II 宗教学 I 宗教学 II 美術史 I 美術史 II 言語論 I 言語論 II 現代文章論 I 現代文章論 II 考古学 I 考古学 II 人文地理学 I 人文地理学 II 民俗学 I 民俗学 II	文学(日本文学) I 文学(日本文学) II 文学(外国文学) I 文学(外国文学) II 歴史学入門(日本史) I 歴史学入門(日本史) II 歴史学入門(東洋史) I 歴史学入門(東洋史) II 歴史学入門(西洋史) I 歴史学入門(西洋史) II 日本文化論 I 日本文化論 II 外国文化論(アジア) I 外国文化論(アジア) II 外国文化論(西欧) I 外国文化論(西欧) II イスラム学 I イスラム学 II (外)日本事情(文化と生活) (外)日本の思想 (外)日本の現在	憲法 I 憲法 II 法学 I 法学 II 政治学 I 政治学 II 社会学 I 社会学 II 心理学 I 心理学 II 教育学 I 教育学 II 現代女性論 I 現代女性論 II 社会環境論 I 社会環境論 II	数学 I 数学 II 地球科学 I 地球科学 II 物質科学 I 物質科学 II 生命科学 I 生命科学 II 生態学 I 生態学 II 自然地理学 I 自然地理学 II 自然環境論 I 自然環境論 II	スポーツ科学 I スポーツ科学 II 健康科学論 I 健康科学論 II 選択スポーツトレーニング実技 I 選択スポーツトレーニング実技 II 生涯スポーツの理論と実技	
1年	Comprehensive English 初級 I Comprehensive English 初級 II Introduction to TOEIC I Introduction to TOEIC II (外)日本語 A I (外)日本語 A II (外)日本語 B I (外)日本語 B II	初級フランス語 I 初級フランス語 II 初級ドイツ語 I 初級ドイツ語 II 初級スペイン語 I 初級スペイン語 II 初級ポルトガル語 I 初級ポルトガル語 II 初級中国語 I 初級中国語 II 初級朝鮮・韓国語 I 初級朝鮮・韓国語 II								

- ※ (外)は外国人留学生対象の科目です。
- ※ 必修科目に関しては、全て単位取得しなければならない。
- ※ 単位数は、外国語科目に関しては1単位、教養科目に関しては、2単位です。ただし、選択スポーツトレーニング実技 I・IIに関しては、1単位です。
- ※ 選択必修科目の(外)日本語D I および(外)日本語D II は、外国人留学生は必ず履修しなければならない。
- ※ 選択必修科目の外国語科目は、1つの言語(2単位)を必ず履修しなければならない。
- ※ 選択科目の外国語科目は、自由に履修することができる。
- ※ 教養科目の選択必修科目(人文、地域、社会、自然、スポーツ・健康)は、24単位以上履修しなければならない。

キャリア科目カリキュラムマップ

本学のキャリア科目は、就職するためのノウハウを学ぶための科目ではありません。「キャリア」という言葉には様々な意味がありますが、本学では「仕事だけでなく家庭や趣味などを含めた人生全体」と捉えます。キャリア科目は皆さんが大学4年間で成長するための支援の一つとして設定しています。

皆さんのキャリア形成支援は、キャリア科目だけが担うものではありません。皆さんのキャリア形成に大切なのは、1～4年までのゼミと学部・学科の基礎・専門科目です。それらの科目が実際の社会とどのように繋がっているのか、そのヒントは「キャリアデザイン」や「キャリアマネジメント」で得られるでしょう。1年次から履修することができますので、大学4年間の学びや活動などの具体的な目標を設定し、4年間で有意義に過ごすことを「キャリアデザイン」や「キャリアマネジメント」の授業で考えてみましょう。

就職活動における筆記試験に不安を感じている方は、1年次のキャリア基礎でSPI対策を始めましょう。2年次からインターンシップに参加することも、就活だけではなく将来の方向性を決めるために良い経験になります。「インターンシップ（準備）」を履修するとスムーズにインターンシップに取り組めます。

教員のように他者への支援に携わりたい方は、2年次から履修できる「キャリアカウンセリング」、企業への就職を希望する方は「職業選択論」「各種寄付講座」の履修をお勧めします。その他に、認定科目として「RKU実践」「災害ボランティア」など、皆さんの活動をサポートする科目もあります。認定方法は、課程表の「履修の手引き」を確認してください。

キャリア科目群には、各学部学科選定の科目もあります。それらの科目もバランスよく履修しましょう。

参考：流通経済大学4年間のキャリア形成支援

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
基本的な考え方		RKU基礎力の醸成 社会へ出るための土台作り				主体的に行動する力の醸成 進路選択への足掛かり			
指針となるテキスト		RKUキャリアガイドブック				就職ガイドブック			
学部教育	少人数教育	1年ゼミ		2年ゼミ		3年ゼミ		4年ゼミ	
	教養・専門領域	語学・必修科目ほか		教養基礎科目ほか		専門基礎科目ほか		専門発展科目ほか	
キャリア科目	キャリア形成基礎	キャリアデザイン	キャリアマネジメント	キャリアカウンセリング					
	社会・企業研究					インターンシップ基礎・各種寄付講座等			
	進路支援	キャリア基礎・キャリア発展		RKU実践				職業選択論	
修学支援	教学支援センター	生活・学習サポート							
						修学基礎講座			
教育導入	教学・就職支援センター	RKU WEE K							
就職支援	就職支援センター	キャリアサポート							
						就職支援プログラム			
				就職ガイダンス・セミナー・学内合同企業説明会・各種試験ほか					
その他	課外講座								

キャリア科目カリキュラムマップ

RKUの目指すキャリア形成

* 社会へ出て専門能力を積み上げるための土台をつくること

* 生涯学び成長し続けるための土台をつくること

	CP1	CP2	CP3		
3年生	☆			(特) キャリア特講 (職業)	特別奨学生
			☆	職業選択論	

	CP1	CP2	CP3		
2年生	☆			(特) キャリア特講 (発展)	特別奨学生
	☆			(特) グローバルコミュニケーション (発展)	特別奨学生
	☆			ビジネス日本語 I	留学生
	☆			ビジネス日本語 I	留学生
		☆		インターンシップ (準備) (報告)	
		☆		ダイレクトマーケティング実践講座	
		☆		野村証券寄付講座	
		☆		全国通運連盟寄付講座	
		☆		日本通運寄付講座	
	☆			キャリアカウンセリング	
			☆	キャリア発展 (文章) (数理)	
	☆			RKU 実践	認定科目

	CP1	CP2	CP3		
1年生	☆			(特) キャリア特講 (基礎)	特別奨学生
	☆			(特) グローバルコミュニケーション (基礎)	特別奨学生
		☆		インターンシップ (海外)	認定科目
		☆		災害ボランティア I II	認定科目
	☆			海外研修	認定科目
			☆	キャリア基礎 (言語) (計算)	
	☆			キャリアマネジメント	
	☆			キャリアデザイン	
☆			RKU 入門	認定科目	

CP1. キャリア形成
 CP2. 社会・企業研究
 CP3. 進路支援

経済学科 カリキュラムマップ

経済学科では、「経済・社会情勢を的確に見極めるための基礎知識を持ち、実践の場においてこれを応用できる人材の養成を目的とする」ことを目指しています。この目的に沿って、経済学科のカリキュラム・マップでは、目的地に向けたルートとして次の4つを設定しています。

(1) 産業と労働

企業、消費者、そして労働者の行動と経済の動きを論理的に理解し、経済社会における問題や政策課題を多様な視点から分析する知識や能力を身につける

(2) 金融と情報

経済全体の動向や銀行・企業の経営情報を収集し、家計の生活設計や資産運用、企業の経営・財務戦略などに役立つよう、様々な視点から情報を分析する知識や能力を身につける

(3) 公共と福祉

市場経済における公共部門（政府）の役割と社会福祉の重要性について十分に理解し、少子高齢化が進む現代社会に貢献できる知識や能力を身につける

(4) 地域と世界

ローカルな地域経済とグローバルな国際経済をバランスよく学び、それぞれの経済問題について多面的な視点から分析できる知識や能力を身につける

1年次は、目的地に向かうそれぞれのルートに関係なく、経済学を学ぶにあたって最低限必要となる知識や能力を身につける準備期間となります。経済学科の必修科目「基礎ミクロ経済学・基礎マクロ経済学」を履修するとともに、1年次から履修できる選択必修科目（専門基礎）の「日本経済史Ⅰ・Ⅱ」、「西洋経済史Ⅰ・Ⅱ」、「資本主義経済論Ⅰ・Ⅱ」、「統計学概論Ⅰ・Ⅱ」を履修するようにしましょう。

2年次以降は、目的地に向かうルート共通の選択必修科目を履修しながら、それぞれのルートに沿った専門科目や関連する発展科目を履修していくことになります。優先順位としては、まず目的地に向かうルート共通の選択必修科目（専門基礎）である「交通論Ⅰ・Ⅱ」、「ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」、「マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」を履修して経済学の基礎的な理解を深め、次にそれぞれの目的地に向かうルートに沿った選択必修科目（例えば、「産業と労働」のルートを選択した場合は、専門基礎科目の「労働経済論Ⅰ・Ⅱ」と「産業組織論Ⅰ・Ⅱ」）を履修すると良いでしょう。

3年次からは、専門ゼミ（演習）に所属をしながら、引き続きルート共通の選択必修科目（専門基礎）やそれぞれの目的地に向かうルートに沿った選択必修科目（専門基礎および専門発展科目）を履修していくことになります。4年次には、所属する専門ゼミ（演習）のなかで4年間の集大成である「ゼミ論文」を執筆します。

経済学科カリキュラムマップ

DP 1. 経済学の理論と現実の経済をバランスよく学習し、それにもとづいて課題に対応していく知識や能力、態度
 DP 2. 自分で考え、周囲の人とコミュニケーションを図りながら、問題を解決していく知識や能力、態度
 DP 3. 豊かな教養と社会の規範を身につけ、健全で充実した社会活動を行う知識や能力、態度

		産業と労働	金融と情報	公共と福祉	地域と世界
		53 科目 106 単位	53 科目 106 単位	54 科目 108 単位	54 科目 108 単位
4年生	4年演習 (ゼミ) CP.2 i)	【選択必修：専門発展】 ビジネスプレゼンテーション I II CP.2 iii)			
	4 単位	【選択必修：専門発展】 経済学特殊講義 A B C CP.1 iv)			
3年生	3年演習 (ゼミ) CP.2 i)	【選択必修：専門発展】 企業論 I II CP.1 iv)	ベンチャーファイナンス CP.1 iv)	行政法 (行政作用法) I II CP.1 iv)	国際関係論 I II CP.1 iv)
	4 単位	【選択必修：専門発展】 広告論 I II CP.1 iv)	リスクマネジメント I II CP.1 iv)	地方財政論 I II CP.1 iii)	国際金融論 I II CP.1 iv)
2年生	2年演習 (ゼミ) CP.2 i)	【選択必修：専門発展】 消費者行動論 I II CP.1 iv)	金融取引法 CP.1 iv)	公共経済学 I II CP.1 iii)	経済発展論 I II CP.1 iii)
	4 単位	【選択必修：専門発展】 環境経済論 I II CP.1 ii)	証券市場論 CP.1 iv)	経済政策論 I II CP.1 iii)	食料・農業経済論 I II CP.1 iii)
1年生	1年演習 (ゼミ) CP.2 i)	【選択必修：専門基礎】 経済学 I II CP.1 ii)	【選択必修：専門基礎】 計量経済学 I II CP.1 ii)	【選択必修：専門基礎】 日本経済論 I II CP.1 ii)	【選択必修：専門基礎】 経済地理学 I II CP.1 ii)
	4 単位	【選択必修：専門基礎】 労働経済論 I II CP.1 iii)	【選択必修：専門基礎】 金融論 I II CP.1 iii)	【選択必修：専門基礎】 財政学 I II CP.1 iii)	【選択必修：専門基礎】 地域経済論 I II CP.1 iii)
1年生	情報リテラシー演習 I II CP.2 iii)	【選択必修：専門基礎】 産業組織論 I II CP.1 iii)	【選択必修：専門基礎】 情報経済論 I II CP.1 iii)	【選択必修：専門基礎】 社会保障論 I II CP.1 iii)	【選択必修：専門基礎】 国際経済論 I II CP.1 iii)
	4 単位	【選択必修：専門基礎】 交通論 I II CP.1 ii)	【選択必修：専門基礎】 ミクロ経済学 I II CP.1 ii)	【選択必修：専門基礎】 マクロ経済学 I II CP.1 ii)	【選択必修：専門基礎】 基礎ミクロ経済学 / 基礎マクロ経済学 CP.1.i)
		【選択必修：キャリア】 経営データ演習 CP.1 iv)	【選択必修：キャリア】 財務会計論 I II CP.1 iv)	【選択必修：キャリア】 経済データ演習 会計学 I II CP.1 iv)	【選択必修：キャリア】 野村証券寄付講座 / 日本通運寄付講座 / 全国通運連盟寄付講座 / ダイレクトマーケティング実践講座 CP. 3 ii)
		【選択必修：キャリア】 ソーシャルメディア演習 CP.2 iii)	【選択必修：キャリア】 経営学概論 I II 簿記論 I II ビジネスデータベース演習 CP.1 iv)	【選択必修：キャリア】 キャリアデザイン / キャリアマネジメント CP. 3 ii)	
		【必修科目：専門共通】	【必修科目：専門共通】	【必修科目：専門共通】	【必修科目：専門共通】
		16 科目 32 単位	16 科目 32 単位	16 科目 32 単位	16 科目 32 単位

CP 1. 標準的な経済学教育の体系に沿って、基礎から専門まで一貫して学修できる積上げ型のカリキュラムに対応した専門基礎科目、および経済学の発展的知識および経済学に関連する多様な学問領域の専門知識を学修する専門発展科目
 i) 体系的な経済学を学ぶ起点として、経済学の基礎理論に触れ、現実の経済現象への興味を喚起するための必修科目
 ii) 経済学の専門的知識を積上げていくために必須となる、共通の知的基盤を形成するための科目
 iii) 経済学の諸分野を学ぶために必須となる、分野に対応した専門基礎科目
 iv) 経済学の応用・発展的分野を学ぶために必須となる、専門基礎科目と連動した専門発展科目

CP 2. 周囲とコミュニケーションを図りながら、自ら問題を解決していく知識や能力、態度を身に付けるための、演習、語学等の科目
 i) コミュニケーション能力および課題を発見し解決する能力を育成するための演習
 ii) 国際化社会において必須となる外国語によるコミュニケーション能力を学修する外国語科目
 iii) 専門分野における知見と実学的な知見を融合し、ビジネスの現場で通用するコミュニケーション能力を高めるための科目
 CP 3. 市民社会の一員として必要不可欠な社会規範と教養を身に付け、健全な知的基盤を形成し、生涯学習へと発展させていく科目
 i) 人文科学、社会科学、自然科学に対する理解を深める一般教養科目
 ii) 生涯学習のための基礎的知識と、自己実現に向けた能動的な態度を育成するキャリア関連科目
 iii) 社会人として必要な幅広い視野を身に付けるために、経済学に関連の深い他の学部、学科の科目

※ DP : ディプロマポリシー、CP : カリキュラムポリシー

経営学科 カリキュラムマップ

経営学科は、産業がグローバル化する時代に通用する「起業およびマネジメントの実践ができる人材」を育成することを目指しています。そうした目標を実現するため、経営学科のカリキュラムマップでは、目的地に向けた3つのルートを設定しています。

1. 起業・マネジメント系

起業・マネジメント系では、①ビジネスプランを考え、実践することができる能力や②顧客や同僚と協力しつつ、企業人として成果を追求することができる能力を身に付けます。

2. マーケティング・流通系

マーケティング・流通系では、①消費者のニーズをとらえながら商品開発や企画など、マーケティング専門職として必要な能力や②顧客に商品を販売するまでの仕組みを構築・最適化することができる能力を身に付けます。

3. 会計・ファイナンス系

会計・ファイナンス系では、①企業財務を理解し、資金の適切な調達・運用ができる能力や②会社の数字を理解し、より良い経営意思決定ができる能力、③会計や税務に関連する法制度を理解し、会計専門職として必要な能力、などを身に付けます。

1年次は、目的地に向かうそれぞれのルートに関係なく、経営学を学ぶための基本的な知識や能力を身につける段階となります。経営学科の必修科目である「経営入門」と「経営学総論Ⅰ・Ⅱ」を履修するとともに、1年次から履修できる選択必修科目（専門基礎）の「簿記論Ⅰ・Ⅱ」や「Eビジネス論Ⅰ・Ⅱ」を履修するようにしましょう。

なお、本学では、全員が1年次から4年次まで演習（一般的にゼミと呼ばれます）に所属し、指導教員の指示を受けることとなります。

2年次以降は、3つの目的地ごとに履修すべき科目が分かれていきます。そのため、それぞれの目的地に関連した専門科目や発展科目を履修していくことになります。併せて、実践性の高いキャリア科目を履修することをお勧めします。また、経営学科では、演習（ゼミ）に関して2年次と3年次に、3つの目的地に関連した専門ゼミに所属することになります。

4年次では、専門性のみならず社会人として活躍するために求められる教養を高めるため総合ゼミに所属しながら、目的地に到達した証として、卒業研究を担当する教員の指導を受けて卒業研究を完成・報告することが義務付けられています。

経営学科カリキュラムマップ（専門科目）

- DP1. 新しい商品やサービスのイノベーション特性を抽出できる
- DP2. 営利または非営利の組織の一員として専門知識を適用し職務を遂行できる
- DP3. 多様で異なる価値観、役割および職種の顧客や同僚と協働できる
- DP4. 経営計画、商品開発や経営分析において自主的に取り組める
- DP5. 企業人として成果を追求しながら、社会人として継続的に学習できる

	演習	起業系	マネジメント系	マーケティング系	流通系	財務系	管理系	法務系	経営学科キャリア系科目	Global Communication
4年	卒業研究 CP67 4年演習 CP68	管理会計論ⅠⅡ CP24 ベンチャーファイナンス CP24	管理会計論ⅠⅡ CP24	ダイレクトマーケティング実践講座 CP6	ロジスティクス実践講座 CP6	税法(法人税法) CP24	国際金融論ⅠⅡ CP24	商法(手形法・小切手法) CP24	ビジネスゲーム CP6	
3年	3年演習 CP26	リスクマネジメントⅠⅡ CP24 社会的企業論 CP234	経営史ⅠⅡ CP24 証券市場論 CP24	国際小売論 CP24 広告論ⅠⅡ CP24	ダイレクトマーケティング実践講座 CP6 国際小売論 CP24	証券市場論 CP24	ベンチャーファイナンス CP24 管理会計論ⅠⅡ CP24	税法(法人税法) CP24 管理会計論ⅠⅡ CP24	ビジネスプレゼンテーションⅠⅡ CP67	グローバルビジネス英語 AB CP5
2年	2年演習 CP26	経営情報システム論 CP24 事業創造論ⅠⅡ CP124	経営情報論 CP234 企業論ⅠⅡ CP1234	経営情報論 CP234 消費者行動論ⅠⅡ CP124	経営情報システム論 CP24 流通政策論ⅠⅡ CP124	金融論ⅠⅡ CP124 財務会計論ⅠⅡ CP124	上級簿記論ⅠⅡ CP24	原価計算論ⅠⅡ CP24 商法(総則・商行為法) CP24	起業家育成講座ⅠⅡ CP67	
		事業戦略論 CP124 会計学ⅠⅡ CP124	組織戦略論 CP124 流通論ⅠⅡ CP124	経営財務論ⅠⅡ CP124 マーケティング論ⅠⅡ CP124		人的資源管理論ⅠⅡ CP124 商法(会社法)ⅠⅡ CP24	経営学特殊講義 CP-24 民法(財産法)ⅠⅡ CP24			
1年	1年演習 CP26	統計学概論ⅠⅡ CP2 Eビジネス論ⅠⅡ CP12	経済データ演習 CP2 ビジネスデータベース演習 CP6	経営データ演習 CP2 ソーシャルメディア演習 CP6		簿記論ⅠⅡ CP24				
		経営入門 CP123	経営学総論ⅠⅡ CP123	情報リテラシー演習ⅠⅡ CP36						

- CP1. 日常生活にかかわる商品・サービスを事例に実践的に経営の全体像を習得する科目を開講する
- CP2. 企業の実態に経営学の専門知識を適用し探求する科目を開講する
- CP3. 教養性と専門性ならびに倫理を総合的に学修する科目を開講する
- CP4. 専門3科目群の中に専門的知識を深める科目を開講する
- CP5. グローバル企業に求められる専門知識を英語で学ぶ科目を開講する
- CP6. 能動的学修や批判的思考を促進するための実習や演習が伴う科目を開講する
- CP7. 自立する企業人への準備として、研究成果などを発表し、審査を受ける科目を開講する
- CP8. 生涯に渡って学習が継続できる教養科目を開講する

※ DP：ディプロマポリシー、CP：カリキュラムポリシー

履修の手引

1. セメスター制

本学ではセメスター制を採用しています。セメスター制とは、学年を春学期と秋学期とに分け、基本的にはそれぞれの学期（セメスター）で単位を修得し、卒業にいたる制度です。

2. 単位制

単位制とは、「教育課程表」に記載されている科目を履修し、科目ごとに定められている単位を修得して、原則として4年間のうちに、卒業に必要な単位を修得する制度です。

(1) 単位の計算方法

単位は講義科目を基本として1単位あたり45時間の学修を必要とする内容で構成されています。2単位の授業科目は90時間の学修時間が必要という意味です。この内、1/3は授業時間内の学修に、2/3が授業時間外の予習・復習に当てられています。単位数の多い科目は予習・復習にそれだけ多くの学修時間をかけなければなりません。

(2) 科目の単位数

科目の単位数は1単位、2単位、4単位のいずれかであり、「教育課程表」に記載されています。授業は基本的に週1回行われ、その授業形態によって、下記のように単位数が決められています。

- 1) 演習：通年の30回の授業で4単位
- 2) 外国語科目：各学期（春、秋）15回の授業で1単位
- 3) 体育科目・スポーツ実技科目：各学期（春、秋）15回の授業で1単位
- 4) 情報科目：各学期（春、秋）15回の授業で2単位
- 5) 講義科目：各学期（春、秋）15回の授業で2単位
- 6) 実習科目：各学期（春、秋）15回の授業で1単位または2単位

3. 最高履修単位数

年間の最高履修単位数は1・2学年が44単位、3・4学年が49単位です。

各学期の最高履修単位数は、1・2学年では26単位、3・4学年では28単位です。ただし、1・2学年では年間の最高履修単位数は44単位ですので、片方の学期で26単位を履修した場合には、もう片方の学期での最高履修単位数は18単位となります。3・4学年では年間の最高履修単位数は49単位ですので、片方の学期で28単位を履修した場合には、もう片方の学期での最高履修単位数は21単位となります。なお、通年で4単位の科目は春学期2単位、秋学期2単位の履修とみなします。

4. 3学年進級に必要な単位数

2学年終了時において、1年演習・2年演習を含め、40単位に達している場合に3学年への進級を認めます。

- ・ 「教育課程表」以外の科目で修得した単位は3学年進級に必要な単位数には含まれません。
- ・ 2年演習の単位を修得できなかった場合でも、1年演習の単位を修得した上で、40単位を満たし

ていれば、3学年へ進級できます。ただし、経営学科は除きます。

なお、卒業までに2年演習の単位を修得しなければなりません。

5. 卒業

(1) 修業年限

4年以上在学し、卒業に必要な所定の単位を修得した学生は、「卒業」となります。卒業に必要な所定の単位が修得できずに4年の在学年数を超えて在籍する学生は、卒業に必要な単位を修得した学期で卒業となります。が、履修登録時に届出をすることにより、卒業に必要な単位を修得した学期で卒業することもできます。なお、卒業に必要な単位を満たした上で4年を超えて在学することはできません。

(2) 学位

卒業した学生には、次の区分に従い「卒業証書・学位記」を授与します。

学部	学科	学位
経済学部	経済学科	学士（経済学）
	経営学科	学士（経営学）
社会学部	社会学科	学士（社会学）
	国際観光学科	学士（社会学）
流通情報学部	流通情報学科	学士（流通情報学）
法学部	ビジネス法学科	学士（法学）
	自治行政学科	学士（法学）
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	学士（スポーツ健康科学）
	スポーツコミュニケーション学科	学士（スポーツ健康科学）

(3) 副専攻

経済学科では、副専攻に関する所定の要件を満たした学生に対して、卒業時に「副専攻」を修了した旨を認定します。

(4) 卒業発表

卒業発表は、毎年3月および9月に行います。

(5) 卒業式

卒業が決定した学生は、卒業式に出席し、学生証と引き換えに「卒業証書・学位記」を受け取ってください。

6. 科目の履修

科目の履修に際しては、教室で授業を受けるだけでなく、シラバスや教室での指導に基づいて自主的に予習・復習をしてください。また、指定された参考図書などについても学習してください。

(1) 科目の区分

各学年の学生が履修すべき科目は、「教育課程表」に記載されています。

必修科目：非常に重要度の高い科目であり、指定された学年に必ず履修しなければならない科目です。
指定された学年で修得できなかった場合には、原則として次年度に必ず履修しなければなりません。

選択必修科目：必修科目に次いで重要度の高い科目であり、教育課程表の区分欄に記されている条件を満たすように科目を選択して、履修しなければならない科目です。

選択科目：必ず履修しなければならない科目ではなく、自由に選択して履修することができる科目です。修得した単位は卒業単位に算入されます。

自由科目：成績表には記載されますが、修得した単位が卒業単位には算入されない科目です。また、各学年の最高履修単位数にも算入されません。ただし、スポーツ健康科学部の開講科目を他学部から自由科目として履修することはできません。

(2) 履修登録（事前登録）

科目の履修にあたっては、事前に登録をしなければなりません。この登録が完了した時点で、科目の履修が確定し、各自の時間割が決定します。ただし、一部、登録が必要でない科目もあります。

- 1) 各科目の時間割、担当教員等については、3月に発表します。履修ガイダンスに出席し、各自であらかじめ履修したい科目を決めておき、定められた期間に履修登録を行ってください。
- 2) 指定された期間に履修登録手続を怠った場合や誤った登録をした場合、その年度の履修は無効となります。
- 3) 履修登録は、Ring（RKU Interchange for Groups）で行います。

7. 単位の修得

- 1) 履修登録した科目に対してのみ単位の修得が認められます。未登録科目を履修しても単位は修得できません。ただし、別に定めるところにより、単位の修得を認めることがあります。
- 2) 履修登録した科目について、「S・A・B・C」いずれかの成績評価が付与された場合に、当該科目の単位の修得が認められます。また、単位が認定された場合には、「R」が付与され、単位の修得が認められます。なお、「D」（不合格）または「/」（評価不能）が付与された場合には、当該科目の単位の修得は認められません。
- 3) 単位は学期（春・秋）ごとに与えられます。通年科目の単位は春学期および秋学期の成績を総合して付与されます。通年科目は片方の学期だけ履修しても単位は修得できません。
- 4) 単位を修得できなかった科目については、再履修してください。ただし、必修科目以外の科目については、別の科目を選択し、履修しても構いません。
- 5) 一度単位を修得した科目（成績の付与された科目）については、再度履修して単位を取り直すことはできません。

8. 休講と補講

休講の案内は Ring で行います。休講となった場合には補講が行われます。補講は原則として、当該授業のある曜日の5時限または土曜日の午前・午後（龍ヶ崎キャンパス）、6時限または土曜日の午後（新松戸キャンパス）に行われます。補講の詳細については、Ring に掲載します。

9. 出席調査

授業では出席を調査します。出席調査はパソコン・スマートフォン・携帯電話、出席カードや提出物等により行います。インターネットや Wi-Fi に接続できるパソコン・スマートフォン・携帯電話等を準備してください。

10. 災害時の授業

台風や大雪、あるいは地震などにより大きな災害が発生した場合には、電車やバス等の公共交通機関が運行できなくなる事態が予測されます。その場合には、その都度、授業を実施するか否かを発表しますので、各自、以下の方法で確認してください。

- 1) Ring <https://ring.rku.ac.jp/>
- 2) 災害時連絡ダイヤル 0297-64-0009

11. 試験

(1) 定期試験

- 1) 定期の試験として、春学期試験と秋学期試験があります。

春学期試験 7月下旬～8月上旬（約2週間）

秋学期試験 1月下旬～2月上旬（約2週間）

- 2) 試験時間割と注意事項は各試験の1週間前までに Ring に掲示しますので、各自で確認してください。

(2) 試験に関する注意事項

- 1) 学生証は必ず携帯し、試験監督者が見やすい場所（机の上）に常に置いてください。学生証を提示しない者は受験できません。学生証を忘れた者は学生生活課（龍ヶ崎）・学務課（新松戸）で、一日有効の仮学生証（有料）を発行してもらい受験してください。
- 2) 遅刻は試験開始後20分以内に限り認めます。ただし、試験時間は延長しません。
- 3) 試験場からの退場は試験開始後30分以内は許可しません。
- 4) 試験中は携帯情報端末等（携帯電話・スマートフォン・通信機能付き電子辞書等）の電源を切り、カバン、バッグなどの中に入れておいてください。時計・辞書の代わりにはできません。
- 5) 試験場における行動はすべて試験監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は不正行為となります。
- 6) 試験中（定期試験および定期試験以外）に不正行為があった場合には、「試験規則」第8条により処置します。不正行為とは、次のような行為です。

- ・他の学生の答案を見ること。
- ・他の学生とコミュニケーション（話、目くばせなど）をとること。
- ・カンニング・ペーパーを持ち込み、それらを見ること。
- ・許可されていないコピー、テキストなどを持ち込み、それらを見ること。
- ・通信機器を用いて外部と連絡をとること。
- ・あらかじめ机に試験に関する事項を書いておき、それらを見ること。
- ・本人以外の者が代理で受験をすること。
- ・他の学生と物品の貸し借りをすること。
- ・答案用紙を教室外に持ち出すこと。
- ・その他、適正な成績評価を妨げる行為を行うこと。

(3) 追試験

定期試験に欠席した場合には、「試験規則」第4条、第5条により、追試験を願い出ることができません。追試験の願い出は欠席した試験が行われた日から起算して7日以内に行わなければなりません。できるだけ早い時期に必要な公的証明書などを添付して、教務課・学務課に申し出てください。入院等により登校できない場合には、教務課・学務課に電話連絡をして指示を受けてください。

(4) 再試験

再試験は原則として行いません。ただし、卒業該当年次生で、卒業に必要な単位が不足する学生に対して、次の要件をすべて満たす場合に限り、再試験の受験を認めることがあります。

- 1) 卒業に必要な単位数が不足する場合、その不足科目が4科目以内であること。ただし、5年以上在籍した学生の卒業に必要な単位数が不足する場合には、その不足科目が6科目以内であること。
- 2) 卒業年次に履修登録が行われている科目であること。
- 3) 出席不良等の理由で評価不能「/」とされた科目でないこと。
- 4) 本人の申請があること。

(5) レポート提出に関する注意事項

担当教員の指示によりレポートを提出するときは、次の事項に注意してください。

- 1) 指示した期限までに指定場所に提出してください。期限後の提出は無効となります。
- 2) 特別の指示のない限り、A4版の用紙を使用し、とじてください。表紙には、科目名、担当教員名、課題、学生番号および氏名を黒インクで明記してください。

12. 不正行為

試験、出席調査、提出物、その他の授業の実施に係る行為において不正をしてはいけません。試験中に不正行為があった場合は「試験規則」第8条により処置します。また、出席調査、提出物、その他の授業の実施に係る行為において不正があった場合は「試験規則」第8条に準じて処置することがあります。

13. 成績評価

- 1) 成績は、授業科目ごとに行う試験（筆記試験、論文、レポート、口述試験、実技テスト）およびその他担当教員の指定する方法によって評価されます。成績評価方法は、シラバスに記載されています。
- 2) 成績は 100 点法によって評価され、60 点以上を合格とし、下表の基準に従って単位が与えられます。また、単位が認定された場合も単位が与えられます。

合格	「S」90点以上	「A」80～89点	「B」70～79点	「C」60～69点
不合格	「D」59点以下 「／」（評価不能）			
単位認定	「R」			

- 3) 成績表は各学期終了後に交付します。ただし、通年科目はその学年終了後に交付します。
- 4) 成績表は各学期終了後に保証人（父母）宛に郵送します。また、Ring にも提示されます。
- 5) 成績に関して質問のある学生は、「成績確認願」を教務課・学務課に提出し、その成績の確認を求めることができます。

14. GPA

本学では、GPA（グレード・ポイント・アベレージ：履修科目の成績の平均値）を算出する制度を定めています。GPAは、学生の学習意欲を高めるとともに、本学が掲げる教育の質の保証についての具体化を進め、適切な修学指導に資することを目的としています。

(1) GPAの算出方法

GPAは、GPA対象授業科目のうち、履修登録した科目についてそれぞれの単位数にグレードポイント（4、3、2、1、0のいずれか）をかけ、その合計ポイントを単位数の総和で割ったものとなります。

(2) グレードポイント

成績評価に対するグレードポイントは下表の通りです。

評価	グレードポイント
S	4
A	3
B	2
C	1
D	0
／	0
R	適用除外

(3) GPA対象授業科目と適用除外科目

適用除外科目を除くすべての授業科目がGPAの対象となります。

以下の科目は適用除外科目です。これらの科目にはグレードポイントが付加されず、修得単位や成績はGPAの計算には使用しません。

1. 教育課程表にある科目に関する単位認定科目
2. 編入学または転入学した際の単位認定科目
3. 本学入学前に修得した単位認定科目
4. 他大学との単位互換等で修得した科目

(4) GPAの活用

GPAは、本学大学院の内部推薦基準、特別奨学生の採用基準、また学修指導や退学勧告の資料として利用されます。

15. 他キャンパス受講

原則として週1日に限り、他キャンパスで開講される科目の受講を認めることがあります。他キャンパス受講を希望する学生は、履修登録時に教務課・学務課に申請してください。

16. キャンパス変更

所定の要件を満たした場合に限り、所属するキャンパスの変更を認めることがあります。キャンパス変更を希望する学生は、教務課・学務課に申請してください。ただし、スポーツ健康科学部は除きます。

17. 演習の履修

基本科目の演習には、1年演習、2年演習、3年演習、4年演習があります。演習の各クラスは通称「ゼミ」とよばれており、原則として全学年・全員がゼミに所属します。

(1) 経済学科

1) 1年演習

1つのゼミを20名程度で編成し、所属するゼミは入学時に指定します。1年演習の未修得者は3学年に進級できません。

2) 2年演習

1つのゼミを20名程度で編成します。2年演習の選択は、1学年の秋学期に行います。各ゼミの指導計画を選択申込の前に発表しますので、それらを熟読の上、自由に選択してください。また、相談期間を設けますので、希望するゼミの担当教員に相談することもできます。ゼミによっては、希望者が定員を上回ることもあります。その場合には、面接やレポートなどにより、担当教員が履修者を選考することがあります。第1希望のゼミに入れなかった場合には、2回目の選択申込により、定員に満たないゼミの中から、履修するゼミを決定します。

3) 3年演習・4年演習

1つのゼミを20名程度で編成します。3学年、4学年を通じて、同じ教員のゼミを履修します。ゼミの選択は、2学年の秋学期に行います。ゼミの決定方法は、上記の2年演習の場合と同様です。3年演習と4年演習は原則として同一学年で履修することができません。演習の単位を修得できな

かった場合には留年となります。

(2) 経営学科

1) 1年演習

1つのゼミを20名程度で編成し、所属するゼミは入学時に指定します。1年演習の未修得者は3学年に進級できません。

2) 2年演習・3年演習

1つのゼミを20名程度で編成します。2年演習の選択は、1学年の秋学期に行います。各ゼミの指導計画を選択申込の前に発表しますので、それらを熟読の上、自由に選択してください。また、相談期間を設けますので、希望するゼミの担当教員に相談することもできます。ゼミによっては、希望者が定員を上回ることもあります。その場合には、面接やレポートなどにより、担当教員が履修者を選考することがあります。第1希望のゼミに入れなかった場合には、~~2回目の選択申込により、第2希望以降をふまえて~~定員に満たないゼミの中から、履修するゼミ決定します。~~所属になります。~~

経営学科では、2学年、3学年の2年間を通じて、同じ教員が担当するゼミを履修します。2年演習では、卒業研究への準備として、教員の研究領域にかかわる経営学分野の知識に関して探求の指導を受けます。3年演習では、2年演習の探究を発展させた後、卒業研究のための研究計画書を作成します。

なお、2年演習の未修得者は3年演習を履修できません。また、3年演習の未修得者は、4年演習および卒業研究を履修できません。ただし、3年編・転入での入学者に限り、特例として2年演習と3年演習の同時履修を認めます。

3) 4年演習

1つのゼミを20名程度で編成します。4年演習の選択は、3学年秋学期に行います。~~社会人として直面する多様な課題に求められる広い視点や総合的理解の習得を目指したゼミを開講します。経営学の総合性または専門性を反映した各ゼミの指導計画を発表します。~~ゼミの選択方法は、基本的には上記の2年演習の場合と同様です。

18. 卒業研究（経営学科）

経営学科には、4学年の必修科目として卒業研究（2単位）があります。

3年演習で作成した研究計画に基づいて、各自の卒業研究を完成します。その際、原則として、3年演習時の担当教員から指導を受けます。所定の期日までに、卒業研究を論文に仕上げ、提出します。その後、卒業研究の発表会が行われ、そこでは原則3年演習担当教員が主査、3年演習担当以外の経営学科の教員が副査となり審査が行われます。

19. 選択科目と副専攻（経済学科）

(1) 選択科目

選択科目には、所属学部・学科の学問分野（これを主専攻とよびます）とは別の、下記の各学問分

野の科目（他の学部・学科の専門基礎・発展科目に当たる科目）が置かれています。主専攻の枠を超えて他の学問分野の科目をも履修し複数の学問分野を学修することにより、現代社会が求めている複眼的な視野と能力を養い、個性あふれる人材を育成することを目的としています。

選択科目の学問分野

経営学
流通情報学
社会学
法学
スポーツ健康科学

選択科目は、いくつの学問分野からでも履修することができ、一分野ごとの履修単位数の上限もありません。

(2) 副専攻

一つの学問分野について、「教育課程表 副専攻」に定める科目から 20 単位以上を修得した場合には、卒業時にその分野の「副専攻」を修了したことの認定をします。なお、「副専攻」の修了について、手続きは必要ありません。

「教育課程表 副専攻」に定める副専攻科目から修得した単位数は全て卒業単位に算入されますが、卒業するためには「教育課程表 卒業に必要な単位数」の要件を満たす必要があります。

副専攻科目のほとんどは教育課程表の「選択科目」に配置されていますが、中には「教養基礎科目」「専門発展科目」に配置されている科目もあります。教育課程表の「教養基礎科目」「専門発展科目」に配置されている科目の修得単位は、副専攻修了に必要な 20 単位には算入しますが、「教養基礎科目」「専門発展科目」として卒業単位に算入しますので、卒業単位に不足がないよう注意してください。
認定を受けたい副専攻によって、「教養基礎科目」「専門発展科目」に配置されている科目数や、どの科目として配置されているかが異なりますので、教育課程表をよく確認してください。

なお、スポーツ健康科学の各科目は、龍ヶ崎キャンパスでのみ開講されます。したがって、新松戸キャンパス所属の学生がこの科目を履修するには「他キャンパス受講」制度によらなければなりません。

20. 単位の認定

大学の正規の授業以外に、学生のキャリア開発に関連する諸活動や公的機関による資格・検定試験の合格などに、教育課程表にある未修得の科目を履修したものとして単位を認定します。なお、各検定試験の合格証明書は申請日から過去 3 年間のものを有効とします。これらについての履修登録は必要なく、それぞれの認定要件を満たした段階で申請すると、単位が認定されます。認定される単位数は合計で 60 単位までです。また、認定された単位数（スポーツトレーニング実技を除く）は、学年別の最高履修単位数には含まれません。

(1) 外国語科目の単位認定

公的な機関による下の表に記した検定試験などで基準点以上の成績を修めた者が、所定の手続きを経て、その合格証（成績表・認定証など）を提出した場合には、教育課程表にある外国語科目を履修したものとみなし、その単位を認定します。

認定科目と試験の種類

			1 単位認定	2 単位認定	4 単位認定	6 単位認定	8 単位認定
英語	英語検定	日本英語検定協会	準 2 級	2 級	準 1 級		1 級
英語	TOEIC L&R	ETS	400 点以上	450 点以上	550 点以上		700 点以上
英語	TOEIC Bridge L&R	ETS	150 点以上				
英語	TOEFL	ETS		450 点以上	500 点以上		550 点以上
英語	TOEFL IBT	ETS		45 点以上	61 点以上		79 点以上
中国語	中国語検定	日本中国語検定協会		準 4 級	4 級		3 級以上
中国語	漢語水平考試	漢語水平考試委員会		2 級以上	4 級	5 級	6 級以上
ドイツ語	ドイツ語技能検定	ドイツ語学文学振興会		4 級	3 級		2 級以上
フランス語	フランス語技能検定	フランス語教育振興協会		4 級	3 級		2 級以上
スペイン語	スペイン語技能検定	日本スペイン協会		6 級	5 級以上		3 級以上
日本語	日本語能力	日本国際教育支援協会	2 級、N2	1 級、N1			
日本語	JTEST 実用日本語検	日本語検定協会	600 点以上	700 点以上			
日本語	日本留学	日本学生支援機構		260 点以上			

- ・ TOEIC および TOEFL の基準点は変更する場合があります。
- ・ TOEIC には「一般公開テスト」(SP) と「団体特別受験」(IP) の 2 種類があります。
 - * 「一般公開テスト」がいわゆる TOEIC で、TOEIC 運営委員会とアメリカの公的機関である ETS (Educational Testing Service) により正式な認定証が発行されます。
 - * 「団体特別受験」は各企業・大学が責任をもって実施する試験で、正式な認定証は発行されません。ただし、TOEIC 運営委員会と実施団体による認定証は発行されます。
 - * 本学では、「一般公開テスト」「団体特別受験」のどちらのスコアでも単位認定の対象とします。
 - * TOEIC Bridge は形式の変更に伴い、単位認定の基準点を 2019 年度以前に受験した場合は 150 点以上、2020 年以降に受験した場合は 80 点以上とします。

- 1) 単位認定は、秋学期定期試験期間終了時まで申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験期間終了後に申請のあったものについては次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験期間終了時まで申請があった場合は春学期に行います。
- 2) 単位認定を希望する者は、必要事項を記入した「単位認定申請書」とそれぞれの試験の「合格証など」を教務課・学務課に提出して申請してください。卒業・進級学年の学生で卒業・進級のため単位認定が必要な場合は、必ず上記の各試験期間終了時まで申請してください。
- 3) 同一の外国語で複数の試験・級に合格した場合は、最上位の試験・級のみが単位認定の対象となります。すでに異なる試験・級・得点により単位認定を受けている場合は、新たに認定を受けられる単位数は、認定済みの単位数を減じた単位数です。
- 4) 認定を受けられる単位数は、最高で 8 単位です。
- 5) 認定される外国語科目は学部により異なりますので、教務課・学務課にて確認してください。
- 6) 日本語の単位認定を行う場合は、外国語科目の「日本語」各科目のほか、キャリア科目の「(外) ビジネス日本語 I・II」も認定科目の対象となります。

(2) スポーツトレーニング実技の単位認定

重点部に所属する学生について、課外活動状況により「選択スポーツトレーニング実技」を履修したものとみなし、その単位を認定します。ただし、スポーツ健康科学部は除きます。

- 1) 対象学生は、ラグビーフットボール部、剣道部（男・女）、柔道部、サッカー部、陸上競技部（長距離）、アメリカンフットボール部、硬式野球部に所属する学生（マネージャーは除く）です。
- 2) 単位認定を希望する学生は、所定の申請書を作成し、所属する部に提出してください。各部で集約した申請書は、体育指導センターを通して、教務課へ提出されます。
- 3) 単位の認定は、①重点部の活動状況、②部活動への出席状況、③部の練習態度、④部の戦績などをチェックして、体育指導センターが原案を作成し、教授会の議を経て決定します。
- 4) 1学年の春学期に1単位、秋学期に1単位を認定します。1学年で認定されなかった場合には、それ以降の学年で単位認定を申請することができます。

(3) 外国留学

本学の「留学に関する規則」に基づき、外国留学をした学生（外国人留学生を除く）に、留学中の学修内容を審査した上で、教育課程表にある科目の単位認定を行います。

- 1) 外国留学を希望する学生は、留学2ヶ月前までに「留学願」を学長に提出し、国際交流センターの承認を受けてください。
- 2) 単位認定を希望する学生は、留学先からの「出席状況および成績に関する証明書」、「修了証」等を添付し、「単位認定願」を学長に提出してください。
- 3) 単位の認定は、国際交流センターの小委員会が原案を作成し、教授会の議を経て決定します。
- 4) 留学期間中の「演習」については、担当教員と留学者がインターネット等を利用して、相互に緊密な連絡を取り合ってください。担当教員は留学者に対して必要な教育、指導を行い、単位を付与します。演習の単位は認定単位には含めません。
- 5) 外国留学をした学生には、「海外研修」（2単位）の単位認定も行われます。

(4) キャリア科目の単位認定

キャリア科目のうち、「RKU入門」、「RKU実践」、「海外研修」、「災害ボランティアⅠ・Ⅱ」、「インターンシップ（海外）」は認定科目です。

1) RKU 入門

入学直後に行われる導入教育を受講した学生に「RKU入門」の単位を認定します。

- ① 単位の認定は、RKU WEEK 期間内のゼミ、ガイダンスなどの各種講座の受講、その他の関連した授業の受講を前提に、ゼミ担当教員が行います。
- ② すべての学生が履修することを原則とします。
- ③ 1学年の春学期に1単位を認定します。

2) RKU 実践

日常のボランティア活動に対して、所定の要件を満たした場合に単位を認定します。

- ① 対象となるボランティア活動は、大学が認める無報酬の活動です。

- ② 活動の3週間前に「RKU 実践活動届」を教務課・学務課に提出してください。
- ③ ボランティア活動の実働3時間を1ポイントとし、合計15ポイントで1単位認定します。ただし、1日2ポイントまでとし、単位認定は在学中1回限りです。
- ④ ボランティア活動参加者は、参加のつど「RKU 実践活動報告書」を別途定める証明部門に提出し、「RKU 実践活動証明書」を受け取り保管しておきます。
- ⑤ 単位認定を希望する場合は、「RKU 実践単位申請書」に15ポイント分の「RKU 実践活動証明書」を添えて学務課・教務課へ提出してください。
- ⑥ 単位認定は、秋学期定期試験終了時までには申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験終了後に申請のあったものについては次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験終了時までには申請のあった場合は春学期に行います。

3) 海外研修

「留学に関する規則」に基づき、「海外研修」2単位を認定します。

4) 災害ボランティア I・II

東日本大震災などの災害発生に関する災害ボランティア活動の参加者に対して、その活動が所定の要件を満たす場合に単位を認定します。

- ① 災害ボランティア活動が45時間相当の場合は1単位、90時間相当の場合は2単位を認定します。
- ② 単位認定を希望する場合は、事前に学生生活課へ「災害ボランティア活動届」を提出し、活動終了後「災害ボランティア単位認定申請書」に「ボランティア活動日誌」「ボランティア活動証明書」(受け入れ機関・団体の証明)を添えて学務課・教務課へ提出してください。

5) インターンシップ (海外)

国際交流センターにおいて定める「海外におけるインターンシップ」に参加した学生に、「インターンシップ (海外)」2単位を認定します。~~詳細については、別途指定します。~~

(5) 資格取得

大学が指定した資格・検定試験に合格した者に単位を認定します。

- ① 資格・検定試験の種類により、資格・検定試験に該当する科目を認定します。
- ② 単位認定は、秋学期定期試験期間終了時までには申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験期間終了後に申請のあったものには、次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験期間終了時までには申請があった場合は春学期に行います。
- ③ 単位認定を希望する者は、必要事項を記入した「単位認定申請書」とそれぞれの試験の「合格証など」を教務課・学務課に提出して申請してください。卒業・進級学年の学生で卒業・進級のため単位認定が必要な場合は、必ず上記の各試験期間終了時までには申請してください。
- ④ 卒業単位として認められる単位は最大20単位です。
- ⑤ 単位を認定する科目と資格・検定試験は表の通りです。なお、年度によって変更となる場合があります。

単位数	資格名	認定科目 優先1	認定科目 優先2	認定科目 優先3	認定科目 優先4	認定科目 優先5
1 単位	秘書技能検定簿1級	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(数理解)	
	秘書技能検定簿2級	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(数理解)	
	簿記検定3級	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(数理解)	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(文章)	
	販売士2級	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(数理解)	
	秘書技能検定2級	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(数理解)	
	日商PC(文書作成)3級	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(数理解)	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(文章)	
	日商PC(データ活用)3級	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(数理解)	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(文章)	
	日商PC(プレゼン資料作成)3級	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(数理解)	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(文章)	
	MOS(スペシャリストレベル)/MCAS(Word)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(数理解)	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(文章)	
	MOS(スペシャリストレベル)/MCAS(Excel)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(数理解)	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(文章)	
	漢字検定準2級	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(数理解)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	(外) ビジネス日本語Ⅰ (外) ビジネス日本語Ⅱ ※ 留学生のみ対象
2 単位	宅地建物取引士	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(数理解)	
	簿記検定1級	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(数理解)	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(文章)	
	販売士1級	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(数理解)	
	簿記検定2級	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(数理解)	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(文章)	
	国内旅行業取扱管理者	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(数理解)	
	福祉住環境コーディネーター2級	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(数理解)	
	日商PC(文書作成)2級	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(数理解)	
	日商PC(データ活用)2級	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(数理解)	
	日商PC(プレゼン資料作成)2級	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(数理解)	
	経済学検定(B/B+ランク)	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(数理解)	
	経済学検定(ミクロ・マクロ)Aランク	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(数理解)	
ファイナンシャル・プランニング技能検定3級	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(数理解)		
ITパスポート	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(数理解)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)		
漢字検定2級	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(数理解)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)		
ドットコムマスターアドバンスシングルスター	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(数理解)		

単位数	資格名	認定科目 優先1 (注1)	認定科目 優先2	認定科目 優先3	認定科目 優先4	認定科目 優先5
4 単位 (注1) (注2)	社会保険労務士	経済学 社会学部 上記以外	社会保険論Ⅰ, 労働経済論Ⅰ, 労働経済論Ⅱ, 公共経済学Ⅰ, 公共経済学Ⅱ 労働法Ⅰ, 労働法Ⅱ, 社会保険論Ⅰ, 社会保険論Ⅱ, 法学特講Ⅰ キャリアスキルA(数理解)Ⅰ, キャリアスキルA(数理解)Ⅱ			
	行政書士	社会学部 上記以外	法律専門職特講Ⅰ(行政書士)Ⅰ, 法律専門職特講Ⅱ(行政書士)Ⅰ, 法学特講Ⅰ, キャリアスキルB(時事・教養), 法律実務研究			
	司法書士	社会学部 上記以外	法律専門職特講Ⅰ(行政書士)Ⅰ, 法律専門職特講Ⅱ(行政書士)Ⅰ, 法学特講Ⅰ, キャリアスキルB(時事・教養), 法律実務研究			
	公認会計士	経済学 社会学部 上記以外	財務会計論Ⅰ, 財務会計論Ⅱ, 管理会計論Ⅰ, 管理会計論Ⅱ 会計学Ⅰ, 会計学Ⅱ, キャリアスキルA(数理解)Ⅰ, キャリアスキルA(数理解)Ⅱ			
	税理士(1科目のみ)	経済学 社会学部 上記以外	財務会計論Ⅰ, 財務会計論Ⅱ, 管理会計論Ⅰ, 管理会計論Ⅱ 簿記論Ⅰ, 簿記論Ⅱ, キャリアスキルA(数理解)Ⅰ, キャリアスキルA(数理解)Ⅱ			
	通関士	流通情報学部 社会学部 上記以外	貿易実務論Ⅰ, 貿易実務論Ⅱ, グローバル・ロジスティクス論Ⅰ, グローバル・ロジスティクス論Ⅱ 国際ビジネス法, 物流関係法, 法学特講Ⅰ, キャリアスキルA(数理解)Ⅰ, キャリアスキルA(数理解)Ⅱ, 法律実務研究			
	総合旅行業取扱管理者	国際観光学部 社会学部 上記以外	観光キャリアマーケティングシステム論 旅行流通システム論			
	基本情報技術者試験	流通情報学部 社会学部 上記以外	アルゴリズム論, 通信・ネットワーク論, ソフトウェア設計論, 情報倫理			
	ファイナンシャル・プランニング技能検定2級	経済学 社会学部 上記以外	社会保険論Ⅰ, 社会保険論Ⅱ, 財政学Ⅰ, 財政学Ⅱ, 公共経済学Ⅰ, 公共経済学Ⅱ 商法(保険法), 金融取引法, キャリアスキルA(数理解)Ⅰ, キャリアスキルA(数理解)Ⅱ, キャリアスキルB(時事・教養)			
	経済学検定(Aランク以上)	経済学 社会学部 上記以外	ミクロ経済学Ⅰ, ミクロ経済学Ⅱ, マクロ経済学Ⅰ, マクロ経済学Ⅱ, 公共経済学Ⅰ, 公共経済学Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ, ミクロ経済学Ⅱ, マクロ経済学Ⅰ, マクロ経済学Ⅱ, 国際経済論Ⅰ, 国際経済論Ⅱ, キャリアスキルA(数理解)Ⅰ, キャリアスキルA(数理解)Ⅱ			

(注1) 特別要学生が認定を受ける際は、学科が指定した科目から選択をする。

(注2) 特別要学生以外の学生が認定を受ける際は、学生自身の学習・受講により、表内から選択する。

(注3) 学科指定科目の枠内における適用順は、上に記載の科目からとすることができ、学生自身の学習・受講により選択することができる。

(6) 法学関連科目の単位認定

法学検定およびビジネス実務法務検定試験に合格した学生に、下記の通り単位の認定をします。

- 1) 単位認定は、秋学期定期試験期間終了時までには申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験期間終了後に申請のあったものについては次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験期間終了時までには申請があった場合は春学期に行います。
- 2) 単位認定を希望する者は、必要事項を記入した「単位認定申請書」とそれぞれの試験の「合格証など」を教務課・学務課に提出して申請してください。卒業・進級学年の学生で卒業・進級のため単位認定が必要な場合は、必ず上記の各試験期間終了時までには申請してください。
- 3) 法学部の学生については、下の表に示した科目から認定します。また、法学部以外の学生については、選択科目の法学関連の科目から認定します。
- 4) 同一の検定試験で複数の級に合格した場合には、上位の級のみが単位認定の対象となります。異なる級の合格によりすでに単位認定を受けている場合は、新たに認定を受けられる単位数は認定済みの単位数を減じた単位数です。
- 5) 認定を受けられる最高単位数は総計8単位です。

	認定単位数			認定科目
	4単位	6単位	8単位	
法学検定 (財)日弁連法務研究財団 (社)商事法務研究会	ベーシック 〈基礎〉コ ース	スタンダー ド〈中級〉 コース	アドバンス ト〈上級〉 コース	法学特殊講義 法律実務研究 スポーツと法（各科目） 法と文化（各科目）
ビジネス実務法務検定 東京商工会議所	3級	2級	1級	

21. 資格の取得

(1) 教員免許

経済学科では、中学校教諭一種（社会）および高等学校教諭一種（地理歴史・公民）、経営学科では高等学校教諭一種（商業）の教員免許を取得することができます。別冊「教職課程履修の手引き」を参照してください。

(2) 社会福祉主事（任用資格）

厚生労働大臣の指定する科目を修めて卒業した者に与えられる任用資格であり、以下の科目から3科目以上を履修し、卒業した者に与えられます。

社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 公的扶助論 老人福祉論 障害者福祉論 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 介護福祉論 福祉行財政と福祉計画論 法学Ⅰ・Ⅱ 心理学Ⅰ・Ⅱ 社会学Ⅰ・Ⅱ
--

履修上の留意点

- * I・IIと分かれている科目（たとえば地域福祉論 I・II）は、 Semester制では2科目となりますが、社会福祉主事の科目としては1科目と数えます。I・IIと分かれている科目の履修については、通年で（I・IIともに）履修してください。
- * 任用資格とは、任用されて（雇用されて）初めて活かすことのできる資格です。就職のための資格ではありませんので、よく考えて履修してください。
- * 3科目以上を履修し卒業すれば任用資格を取得できますが、実務上は、6科目以上履修し卒業することが望まれます。

(3) 公益社団法人 日本体育協会「公認スポーツ指導者」

日本体育協会は、国民のスポーツ振興と競技力向上にあたる各種スポーツ指導者の資質と指導力の向上をはかり、指導活動の促進と指導体制を確立、総合型地域スポーツクラブでのスタッフの育成を図るため、「(財)日本体育協会公認スポーツ指導者制度」を制定しています。

将来、スポーツ指導者、総合型地域スポーツクラブでのスタッフ等を目指す学生は、日本体育協会資格一覧の資格を取得することが望まれます。「共通科目 I・II」の修了証は下記の表に示す科目の単位を取得し、申請を行ったものが取得できます。また、「共通科目 I・II」の修了証の申請と同時に、「スポーツリーダー」の資格取得が同時にできます。

No.	科目名	単位数
1	スポーツと文化	2
2	コーチング論	2
3	スポーツと法	2
4	体力トレーニング論	2
5	発育発達老化の理論・実習	2
6	スポーツ栄養学 I	2
7	スポーツ社会学	2
8	スポーツ外傷・障害と予防	2
9	スポーツ心理学	2
10	スポーツマネジメント論	2

これらの申請は、**卒業年次のみ**にしか受け付けることができません。卒業後の申請は、いかなる理由であれ認められませんので、注意してください。申請には別途申請料を徴収します。

日本体育協会が認定する様々な資格を取得するためには、日本体育協会が開催する講習会等に出席し、各専門科目を取得する必要があります。

資格の詳細は、日本体育協会のホームページで確認してください。

<http://www.japan-sports.or.jp/>

日本体育協会資格一覧
スポーツ指導基礎資格

(h=時間)

資格	内容	要件
スポーツリーダー	・地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたる。	共通I

競技別指導者資格

資格	内容	要件
指導員	・地域スポーツクラブ等において、スポーツに初めて出会う子どもたちや初心者を対象に、競技別の専門知識を活かし、個々人の年齢や性別などの対象に合わせた指導にあたる。	共通I 専門:40h以上
上級指導員	・地域スポーツクラブ等において、年齢、競技レベルに応じた指導にあたる。 ・事業計画の立案などクラブ内指導者の中心的な役割を担う。	共通I+II 専門:20h以上
コーチ	・地域において、競技者育成のための指導にあたる。 ・広域スポーツセンターや各競技別のトレーニング拠点において、有望な競技者の育成にあたる。	共通I+II+III 専門:60h以上
上級コーチ	・ナショナルレベルのトレーニング拠点において、各年代で選抜された競技者の育成強化にあたる。	共通I+II+III+IV 専門:40h以上
教師	・商業スポーツ施設等において、競技別の専門的指導者として、質の高い実技指導を行う。	共通I+II+III 専門:80h以上
上級教師	・商業スポーツ施設等において、競技別の専門的指導者として質の高い実技指導を行う。 ・会員（顧客）が満足できるよう、個々人の年齢や性別、技能レベルやニーズなどに合わせたサービスを提供する。	共通I+II+III+IV 専門:60h以上

フィットネス系資格

資格	内容	要件
ジュニアスポーツ指導員	・地域スポーツクラブ等において、幼・少年期の子どもたちに遊びを通じた身体づくり、動きづくりの指導を行う。	共通I 専門:40h
スポーツプログラマー	・主として青年期以降のすべての人に対し、地域スポーツクラブなどにおいて、フィットネスの維持や向上のための指導・助言を行う。	共通I+II 専門:63h

メディカル・コンディショニング系資格

資格	内容	要件
アスレティックトレーナー	・スポーツドクター及びコーチとの緊密な協力のもとに、競技者の健康管理、障害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及びトレーニング、コンディショニング等にあたる。	共通I+II+III 専門:600h
スポーツ栄養士	・スポーツ活動現場において、競技者の栄養・食事に関する専門的なサポートにあたる。 ・競技者の栄養・食事に関する自己管理能力を高める栄養教育を行う。	共通I+II+III 専門:116.5h

マネジメント資格

資格	内容	要件
アシスタントマネジャー	・総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネジャーを補佐し、クラブマネジメントのための諸活動をサポートする。	共通I 専門:35h
クラブマネジャー	・総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブの経営資源を有効に活用し、クラブ会員が継続的に快適なクラブライフを送ることができるよう健全なマネジメントを行う。	共通I 専門:167.5h

22. 履修計画と履修モデル

(1) 経済学科

経済学部経済学科での4年間の学修を効果的に進めるためには、自分の問題意識や将来の進路に関連づけて、履修の計画を立てることが重要です。

そこで、経済学科では、皆さんの履修の計画の参考となるように、4つの履修モデルを設定しています。4つのモデルは緩やかな誘導であり、どのモデルを選ぼうと、原則的にすべての科目を選択履修することができますし、いずれの履修モデルとも異なる独自の科目履修をしていくことも可能です。しかし、4つの履修モデルから1つを選び、その内容にそって、学年ごとに履修科目を決めることにより、学修をより深化させることが出来ます。

まず1学年では、どの履修モデルにおいても重要となる経済学の基礎的な科目が設置されています。必修科目として「基礎ミクロ経済学・基礎マクロ経済学」があり、この科目は全員が必ず履修しなければなりません。このほか1学年から選択できる選択必修科目として、「統計学概論Ⅰ・Ⅱ」「経済学史Ⅰ・Ⅱ」「日本経済史Ⅰ・Ⅱ」「西洋経済史Ⅰ・Ⅱ」「資本主義経済論Ⅰ・Ⅱ」「経済地理学Ⅰ・Ⅱ」があります。

2学年からは、各自の興味と進路に応じて4つの履修モデルに分かれます。科目を選択する際、まず各モデルに配当された専門基礎科目と専門発展科目を履修するとよいでしょう。専門基礎科目は履修モデルの中核となる科目で、専門発展科目は専門分野についての理解を深めるための科目で、卒業のためには、4年間で専門基礎科目を32単位（以上）、専門発展科目を8単位（以上）取得する必要があります。より幅広い知識を得るために、各モデル以外の選択科目を履修することも可能です。

それぞれのモデルには、モデルに沿った体系的な理解を積み重ねるうえでもっとも重要で中核的な内容を扱う科目である「モデル・コア科目」が配置されています。ほとんどの専門基礎科目といくつかの学部共通科目が、それぞれのモデルの特性を考慮して、いずれかのモデルの「モデル・コア科目」に配当されています。まず「モデル・コア科目」を履修して基礎的な理解を深め、次に関連する専門発展科目などを履修するとよいでしょう。

「産業と労働」モデル

現代の経済社会では、産業の担い手である企業だけでなく、私たち自身も消費者や労働者として活動し、私たち自身が「経済」と密接に繋がっています。それゆえ、複雑な現代社会に的確に対応するためには、この「経済」というシステムを理解することが非常に重要です。「産業と労働」モデルでは、企業、消費者、そして労働者の行動と経済の動きを論理的に理解し、急激に変化する経済社会における問題や政策課題を多様な視点から分析できる人材を育成します。

「金融と情報」モデル

IT化の進展によって世界中の情報が瞬時に手に入る現在、必要な情報を的確に分析し、迅速に行動することが求められています。とくにお金を扱う金融の分野では、物価、金利などマクロ経済全体の動向や銀行・企業の経営情報を収集し、家計のライフデザインや資産運用、企業の経営・財務戦略などに役立つよう、様々な視点から情報を分析する能力が必要となります。「金融と情報」モデルでは、

複雑な金融のしくみを理解し、情報の活用法について学び、情報化社会で活躍できる人材を育成します。

「公共と福祉」モデル

公共部門（政府）の役割は時代に伴って変化し、その活動の範囲が確実に拡大しています。近代社会において、先進国を中心に福祉国家が形成されてきましたが、その一方で、社会保障などの政府支出の増加は巨額の財政赤字をもたらし、日本においても、少子高齢化が進むなかで、難しい対応を迫られています。「公共と福祉」モデルでは、市場経済における政府の役割と福祉の重要性について十分な知識と理解をもち、経済社会に貢献できる人材を育成します。

「地域と世界」モデル

経済のグローバル化が進む中で、私たちの暮らす地域と世界はより密接な関連性を持つようになっています。地域にある企業でも、海外への進出をにらみながら、世界中の企業・消費者と取引していますし、他方では、海外の企業が私たちの暮らす地域に立地展開する動きも見られ、世界経済の動向が地域経済の動向とリンクする時代を迎えています。「地域と国際」モデルでは、ローカルな地域経済と、グローバルな国際経済をバランスよく学び、経済問題についての多面的な理解力の向上を目指し、地域社会や国際社会で活躍できる人材を育成します。

※ 卒業時に副専攻の修了の認定を受けたい場合は、指定された要件を満たす必要があります。詳しくは、「教育課程表 副専攻」および「19.選択科目と副専攻」を参照してください。

履修学年	科目種類		科目名				
1 学年以降	必修		基礎ミクロ経済学 基礎マクロ経済学 1年演習 情報リテラシー演習Ⅰ・Ⅱ				
	モデル・コア科目	専門基礎	統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ 西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 資本主義経済論Ⅰ・Ⅱ				
			外国語科目				
履修モデル		産業と労働		金融と情報		公共と福祉	地域と世界
2 学年以降	必修		2年演習 リベラルアーツ演習				
	モデル・コア科目	専門基礎	ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ				
			産業組織論Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ 情報経済論Ⅰ・Ⅱ 経済政策論Ⅰ・Ⅱ 食料・農業経済学Ⅰ・Ⅱ	金融論Ⅰ・Ⅱ 情報経済論Ⅰ・Ⅱ 社会保障論Ⅰ・Ⅱ 経済政策論Ⅰ・Ⅱ	財政学Ⅰ・Ⅱ 社会保障論Ⅰ・Ⅱ 公共経済学Ⅰ・Ⅱ 経済政策論Ⅰ・Ⅱ 地方財政論Ⅰ・Ⅱ	地域経済論Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 経済発展論Ⅰ・Ⅱ 食料・農業経済学Ⅰ・Ⅱ 地方財政論Ⅰ・Ⅱ	
	専門基礎		国際経済論Ⅰ・Ⅱ 地域経済論Ⅰ・Ⅱ 公共経済学Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ 社会保障論Ⅰ・Ⅱ	産業組織論Ⅰ・Ⅱ 財政学Ⅰ・Ⅱ 地域経済論Ⅰ・Ⅱ 経済発展論Ⅰ・Ⅱ	地域経済論Ⅰ・Ⅱ 産業組織論Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ 経済発展論Ⅰ・Ⅱ	産業組織論Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ 財政学Ⅰ・Ⅱ 社会保障論Ⅰ・Ⅱ 経済政策論Ⅰ・Ⅱ	
	専門発展		経済データ演習 会計学Ⅰ・Ⅱ グローバルビジネス英語 AB				
			経営データ演習	経営データ演習 財務会計論Ⅰ・Ⅱ			
3 学年以降	必修		3年演習 4年演習				
	モデル・コア科目	専門基礎	日本経済論Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 計量経済学Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ 環境経済論Ⅰ・Ⅱ				
		専門発展	企業論Ⅰ・Ⅱ 消費者行動論Ⅰ・Ⅱ 経営学総論Ⅰ・Ⅱ	リスクマネジメントⅠ・Ⅱ 国際金融論Ⅰ・Ⅱ 証券市場論			国際金融論Ⅰ・Ⅱ
		選択科目	人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ	情報学概論Ⅰ・Ⅱ 経営財務論Ⅰ・Ⅱ	社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 公的扶助論	流通論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ	

		ビジネスプレゼンテーションⅠ・Ⅱ			
専門発展	広告論Ⅰ・Ⅱ	金融取引法 ベンチャーファイナンス	行政法(行政併法)Ⅰ・Ⅱ	国際関係論Ⅰ・Ⅱ ベンチャーファイナンス	
キャリア科目	RKU入門 キャリアデザイン キャリアマネジメント キャリアカウンセリング キャリア基礎(数理) キャリア基礎(言語) キャリア発展(数理) キャリア発展(言語) 職業選択論 インターンシップ(準備) インターンシップ(報告) 各実践講座 日本通運寄付講座 全国通運連盟寄付講座 野村証券寄付講座				
将来の職種(職種・業種)	NPO、コンサルタント、研究 機関など各種団体	金融機関・情報関連企業	医療・福祉サービス、保 険会社、共済等	商社やインフラ関連な ど、流通業・運輸業等	
	民間企業 国家・地方公務員				

(2) 経営学科

1) 将来目標の計画と能動的学修の実践

日本の人口は2010年の1億2806万人から人口減に転じ、30年以降は、毎年100万人ずつ人口減になると推測されています。2060年には8674万人に減少することになります。主として年金に頼る65歳以上の高齢者人口の増加に対して、生産と消費の担い手である15歳から65歳未満の生産年齢人口は、1995年頃から人口減に転じています。おおむね毎年75万人の生産年齢人口が失われていくこととなります。産業界は、限られた天然資源だけでなく、今まで経験をしたことがない国内市場の縮小と対峙することとなります。

このような経営環境にあって、企業活動を維持し発展させるには、これまでにまして、イノベーションや起業に取り組めるマネジメント能力のある人材への期待が大きくなります。そして、中小企業を含めて、中国にとどまらずインド、インドネシアなどの急激に発展しつつあるアジア市場へ進出することが避けられないため、グローバル人材の時代を迎えつつあります。企業が求めるグローバル人材には、社会人として求められるリベラルアーツとして、「①異文化への理解力があり多様な価値観を認められること」、「②日本の文化や歴史や現代的問題に関心を持ち、未経験の問題を解決する際に求められる基礎的な思考力やコミュニケーション能力があること」、また、企業活動に直結するマネジメントを学修した経営学科卒業生として自らキャリアデザインを試みながら、「③与えられた職務に粘り強く取り組めること」が求められています。

学士(経営学)修得までの能動的学修プロセス			
1年	2年	3年	4年
学生と教員によるラーニングポートフォリオ活動			
1年演習	2年演習	3年演習	4年演習
経営入門 経営学総論Ⅰ・Ⅱ	流通論Ⅰ・Ⅱ 会計学Ⅰ・Ⅱ	卒業研究(計画)	卒業研究(発表会・審査会)
【実習系科目】 簿記論Ⅰ・Ⅱ ビジネスデータベース演習 ソーシャルメディア演習 経営データ演習 経済データ演習	【経営学科独自キャリア系科目】 起業家育成講座Ⅰ・Ⅱ ビジネスゲーム グローバルビジネス英語 ビジネスプレゼンテーションⅠ・Ⅱ		
【経営学科知識系科目】 ①起業・マネジメントモデル ②マーケティング・流通モデル ③会計・ファイナンスモデル			

このような時代の要請に応えるために経営学科は、起業およびマネジメントの実践ができる人材の育成に取り組んでいます。そのために、企業の現場で活躍できるように、最先端のソーシャルメディア情報技術はもちろん、経営戦略と事業創造、最新のネットビジネスと流通戦略、そして、簿記・会計に関する専門科目を多数設けています。さらに、4年間に渡り、1年次では基礎的ゼミ、2年次や

3年次の2年間は専門ゼミ、4年次では社会人としても求められる基礎的能力と経営学科卒業生として求められるマネジメント能力の融合を目標とする総合ゼミが開講され、学生と教員の協同による学修実践活動が展開されます。

学修実践活動では、複数の教員の助言を受けながら、個々の学生が将来目標を計画し、それに相応しい自分の履修モデルをデザインし、実践し、評価することになります。また、上級生や下級生を含めた学生相互の学修活動も行われ、マネジメントに求められるリーダーシップやチームワークを経験することになります。

なお、現代社会、特に経済的先進国は、多様な組織により社会が構成されています。生産、教育、福祉など、組織が主体になって財・サービスを創造し、社会に貢献しています。組織には、基本的に営利組織（株式会社など）と非営利組織（官公庁、病院、学校、NPOなど）があります。経営学科では、営利組織の経営に関する科目が多いですが、非営利組織についても配慮しています。

2) 学修計画と基本履修モデル

マネジメントの基本は、「社会のため力を尽くして物事を営む」「人々のために工夫を凝らしてモノやサービスを創造する」「継続的・計画的・経済的に事業を遂行する」ことであり、マネジメントの研究は、営利組織、非営利組織の経営を人間的側面・技術的側面・経済的側面から研究し、よりよい経営方法を創造することを目的としています。

個人別履修モデルデザインのための基本履修モデル			
	1年	2年	3年・4年
①起業・マネジメント	E ビジネス論Ⅰ・Ⅱ	事業戦略論 組織戦略論 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 管理会計論	経営財務論Ⅰ・Ⅱ 経営情報システム論 ベンチャーファイナンス リスクマネジメントⅠ・Ⅱ
②マーケティング・流通	E ビジネス論Ⅰ・Ⅱ	マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 流通論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 組織戦略論 経営情報論	流通政策論Ⅰ・Ⅱ 消費者行動論Ⅰ・Ⅱ 広告論Ⅰ・Ⅱ 経営情報システム論 国際小売論
③会計・ファイナンス	簿記論Ⅰ・Ⅱ	会計学Ⅰ・Ⅱ 財務会計論ⅠⅡ 上級簿記論 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ 経営財務論Ⅰ・Ⅱ	管理会計論Ⅰ・Ⅱ 商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 税法（法人税法） 監査論Ⅰ・Ⅱ 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ ベンチャーファイナンス

経営学科の学生は、学修実践活動をとおして、自分自身の履修モデルを計画することになっています。ここに自分の履修モデル計画の核となる「①起業・マネジメントモデル」、「②マーケティング・流通モデル」、「③会計・ファイナンスモデル」の各基本履修モデルを提示します。

以下の「①起業・マネジメントモデル」および「③会計・ファイナンスモデル」を4年次に専門的に学びたい学生は4年演習（ゼミ）の中で、「起業家育成ゼミ」や「会計専門職ゼミ」を履修できます。

① 起業・マネジメントモデル

ソーシャルメディアを中心としてICT（情報通信技術）が日常生活に行き渡る現代はネット社会と呼べます。あらゆる業界や業種において、それらを道具として使いこなし、消費者ニーズの多様化に

ともなう環境変化にもすばやく対応して意思決定を行い、組織を動かし、事業を創造・展開していく必要があります。企業・マネジメント履修モデルでは、そうした経営環境の変化に柔軟に適應できる人材の育成のため、経営学科教員の研究内容が反映された最新の経営理論を提供しています。この履修モデルを中心に、将来目標、興味や関心に応じて個人別履修モデルをデザインした経営学科卒業生は、さまざまな業種で経営プロフェッショナルとして第一歩を踏み出し、やがてネット社会における人材として幅広く活躍できるでしょう。

② マーケティング・流通モデル

どのような企業・組織でも提供する商品・サービスは市場に受け入れられなければ、経営を持続できません。マーケティング・流通履修モデルでは、変化する消費市場に受容される製品・コンセプト・ブランドの形成方法、多様化するライフスタイルを迅速に読み取り、対応していくための生産者と販売業者の関係の構築方法などを学ぶために、経営学科教員の研究内容が反映された最新の経営理論を提供しています。マーケティング・流通履修モデルを中心に、将来目標、興味や関心に応じて個人別履修モデルをデザインした経営学科卒業生は、不確実性がますます高くなっている現代の市場において、売れる仕組みを自ら構築できる人材として幅広く活躍できるでしょう。

③ 会計・ファイナンスモデル

現代社会では、人々は組織活動を通してビジネス・事業の成功に挑戦します。ビジネス・事業を効率的に推進するには、資金の流れを体系的に把握する能力が不可欠です。会計・ファイナンス履修モデルは、企業に関する資金の流れを数字の面から理解することにより、競争相手との比較を通して、自社の経営の良し悪しを判断し、企業が資金を調達する手法を学ぶために、経営学科教員の研究内容が反映された最新の経営理論を提供しています。会計・ファイナンス履修モデルを中心に、企業経理専門職、公務員などのほか、会計大学院への進学、税理士、国税専門官、公認会計士などの専門職へ将来目標に応じて個人別履修モデルをデザインした経営学科卒業生は財務に精通した人材として幅広く活躍できるでしょう。

2020年（令和2年）4月発行

経済学部

履修要綱

流通経済大学

RKU

<http://www.rku.ac.jp/>